資料 5 出版物一覧

☆5-1 出版状況一覧

- ・※印を付したものは、表題・目次などを以下(5-2、3)に別掲。
- ・出版社より刊行したものはその名を入れた。

(所蔵目録)

1	国文学研究資料館蔵マイクロ資料目録		昭和52年4月
	1976年~1991年(15冊)〔1977年は発行せず〕		~平成4年3月
2	国文学研究資料館蔵マイクロ資料目録簡略版 1976年		昭和53年3月
3	国文学研究資料館蔵マイクロ資料目録縮刷版	笠間書院	昭和54年7月
	1976年~1990年(14冊)		~平成4年3月
4	国文学研究資料館蔵マイクロ資料目録書名索引 1976年-1988年		平成2年3月
5	国文学研究資料館蔵逐次刊行物目録		昭和52年 4 月
	1977年~1992年(15冊)〔1978年は発行せず〕		~平成4年3月
6	国文学研究资料館蔵和古書目録 1972-1981		昭和57年3月
	增加 1 (1982)		58 3
	增加 2 (1983)		59 3
	增加 3 (1984-1985)		61 3
	1972-1986〔累積版〕		62 3
	增加 4 (1987)		63 3
	(文献目録・年鑑)		
7	国文学年鑑		
	(1) 国文学研究文献目録 昭和16年~昭和37年(1冊)		昭和59年3月
	(2) 国文学研究文献目録	至文堂	昭和49年3月
	昭和46年~昭和51年(6冊)		
	□40404-20141914 (Q III)		~昭和53年12月
	(3) 国文学年鑑	至文堂	~昭和53年12月 昭和54年3月
		至文堂	
	(3) 国文学年鑑	至文堂	昭和54年3月
8	(3) 国文学年鑑 昭和52年~平成2年(14冊)	至文堂	昭和54年3月
	(3) 国文学年鑑 昭和52年~平成2年(14冊) (事業に関する出版物)	至文堂	昭和54年3月~平成4年3月
	(3) 国文学年鑑 昭和52年~平成2年(14冊) (事業に関する出版物)	至文堂	昭和54年3月 ~平成4年3月 昭和47年12月
8	(3) 国文学年鑑 昭和52年~平成2年(14冊) (事業に関する出版物) 国文学研究資料館報 第1号~第38号	至文堂	昭和54年3月 ~平成4年3月 昭和47年12月 ~平成4年3月
8	(3) 国文学年鑑 昭和52年~平成2年(14冊) (事業に関する出版物) 国文学研究資料館報 第1号~第38号	至文堂	昭和54年3月 ~平成4年3月 昭和47年12月 ~平成4年3月 昭和53年2月

11 国文学研究资料館参考掛誌叢刊 1~3%		昭和54年7月
		~昭和57年2月
12 国文学研究資料館特別展示目録 1~13%		昭和52年7月
		~平成3年11月
13 国文学研究资料館特別展示図録(2冊)※		昭和57年10月
		59 11
14 十年の歩み		昭和57年10月
15 古典籍総合目録 3巻	岩波杳店	平成2年2月、3月
(報告・研究報告・紀要)		
16 国文学研究资料館報告 第1号~第12号%		昭和53年3月
		~平成3年3月
17 調査研究報告(文献資料部) 第1号~第13号※		昭和55年3月
		~平成4年3月
18 国文学研究资料館共同研究報告 1~7%	明治書院	昭和56年3月
		~平成2年3月
19 「国文学とコンピュータ」シンポジウム講演集 第1回、第2	回	平成2年11月
		3 10
20 国文学研究资料館紀要 第1号~第18号※	至文堂	昭和50年3月
		~平成4年3月
(史料館関係)		
21 史料館報 第1号~第56号		昭和40年3月
		~平成4年3月
22 史料館所蔵史料目録 第1集~第57集※		昭和27年3月
		~平成4年3月
23 史料館所蔵目録一覧〔近世史料・郷土資料の部〕		昭和55年3月
24 史料館所蔵民族資料図版目録 第1巻~第5巻		昭和42年11月
		~昭和47年3月
25 史料館叢書 1~10、別巻1%	東京大学出版会	昭和55年3月
		~平成元年3月
26 史料の整理と管理	岩波蛰店	昭和63年 5 月
27 史料館の歩み 四十年		平成3年11月
28 近世・近代史料目録総覧	三省堂	平成4年4月
29 史料館研究紀要 第1号~第23号※		昭和43年3月
		~平成4年3月

☆5-2 シリーズ出版物各号表題

国文学研究	尼貸料館報告		
第1号	国文学研究資料館におけるコンピュータ及び漢字システム	昭和53年	3 月
第2号	『国文学研究資料館蔵マイクロ資料目録』作成システム	54	3
第3号	漢字データ処理用ソフトウェア	54	3
第4号	図書資料管理システム	54	3
第5号	逐次刊行物目録作成システム	55	2
第6号	データ処理用漢字辞書	55	3
第7号	著者名典拠ファイルのデータ構造	56	3
第8号	データ処理システムにおける漢字字種:1981	56	3
第9号	目録編集用ソフトウェア	57	3
第10号	和古書目録データベースの形成と著者名典拠ファイル	58	3
第11号	古典テキストデータ用データベースシステムの開発	58	3
第12号	古典籍総合目録 ーデータベースの構築と出版-	平成 3	3
国文学研?	究資料館講演集		
1	日本の説話 ーハナシの世界ー	昭和55年	3月
2	和歌の流れ	56	3
3	近世の小説	57	3
4	日本の歌謡	58	3
5	日記と文学	59	3
6	日本文学と中国文学	. 60	3
7	近世の日記・記録	61	3
8	軍記物語の展開	. 62	3
9	本の話	63	3
10	仏教と文学	平成元	3
11	近世演劇 一歌舞伎と人形浄瑠璃一	2	3
12	上代の文学	3	3
13	江戸から東京へ -継承と創造-	4	3
国文学研!	究資料館特別展示目録		
1	国学者自筆稿本と奈良絵本を中心として	昭和52年	7月
2	久松博士蔵歌論書及び本館蔵国学関係書を中心として	53	3
3	「古今集」初雁文庫を中心として	53	6
4	日本の絵本ならびに版本の挿絵	54	8
5	館蔵貴重書展	56	3

6	国学者自筆本と新収資料を中心として		昭和56年	F11月
7	新収资料展		57	9
8	中世歌論書展 一久松家寄託資料一		58	11
9	新収資料展 一昭和57~59年度期一		60	11
10	古今集 - 初雁文庫本を中心として-		61	11
11	絵巻・絵本ならびに版本の挿絵		62	11
12	新収資料展 一昭和60~62年度期-		平成元	11
13	新収資料展 一昭和63~平成2年度期-		3	11
国文学研究	2資料館特別展示図録			
1	創立十周年記念特別展示		昭和57年	F10月
2	蔵書印展		59	11
国文学研究	咒資料館参考書誌費刊			
1	謡曲曲名索引		昭和54年	F7月
2	索引書類リスト		55	3
3	日本文学史参考背目リスト		57	2
国文学研究	咒資料館共同研究報告(単行本)			
1	初雁文庫主要背目解題 付初雁文庫目録	明治書院	昭和56年	F3月
2	酒田市立光丘文庫俳書解題	"	58	1
3	連歌資料のコンピュータ処理の研究	"	60	3
4	文学における「向こう側」	"	60	6
5	逸翁美術館蔵国文学関係資料解題	"	平成元	3
6	江戸の笑い	"	元	3
7	終わりの美学	"	2	3
史料館所謂	发史料目錄			
第1集	遠州嶋村山田家文書		昭和27年	F3月
	遠州桑地村加茂家文書			
2	駿州岩本村文書		28	3
	遠州気賀宿文書			
3	伊勢国射和村富山家文書		29	3
	武蔵国川越町横田家文書			
	小橋屋平井店文書			
	播磨屋中井両替店記録			
4	阿波蜂須賀家文書		30	3
	雲州松平家文書			
5	甲斐国山梨郡下井尻村依田家文書		31	3

6	武州多摩郡連光寺村富沢家文書	昭和32年3月
	武州多摩郡連光寺村富沢分家文書	
7	出羽国村山郡山家村山口家文書	33 6
8	祭魚洞文庫旧蔵水産史料	35 3
9	出羽国村山郡山形宝幢寺文書	37 3
10	武蔵国幡羅郡永井太田村掛川家文書	39 3
	武蔵国幡羅郡下奈良村吉田家文書	
	祭魚洞文庫旧蔵史料	
11	日本実業史博物館旧蔵資料(一)	40 3
12	陸奥国弘前津軽家文書	41 3
13	甲斐国山梨郡下井尻村井尻家文杳	42 3
	甲斐国山梨郡下井尻村依田家文書追補	
	甲斐国巨摩郡青柳村秋山家文書	
14	摂津国大阪加嶋屋長田家文書	43 3
15	常陸国土浦土屋家文書	44 3
	土屋家家中大久保家文書	
	秋元家家中福井家文書	
16	出羽国村山郡山形宝幢寺文書追加	45 3
17	愛知県庁文書	46 3
	群馬県庁文書	
18	出羽国秋田郡南比内大葛金山荒谷家文書	46 3
19	常陸国行方郡牛堀村須田家文書	. 47 3
20	伊予国伊予郡上野村玉井家文書	47 3
21	播磨国屋形旗本池田家文書	48 3
	三河国深溝村八田家文書	
	旗本船越氏和州御用場文書	
	上野国東小保方村萩原家文書	
22	伊豆国君沢郡内浦長浜村大川家文書	48 3
23	近江国蒲生郡鏡村玉尾家文書	49 3
24	信濃国佐久郡下海瀬村土屋家文書	51 3
25	美濃国多芸郡島田村千秋家文書	51 3
26	下総国相馬郡藤代村飯田家文書(その一)	51 3
27	下総国相馬郡藤代村飯田家文書(その二)	52 3
28	信濃国松代真田家文書(その一)	53 3
29	伊豆国君沢郡内浦史料	53 9

30	近江国蒲生郡八幡町山形屋西川家文書		昭和54年	₹3月
	三井高維蒐集史料			
31	山城国京都久世家文書		55	3
	山城国京都平松家文書			
32	下総国相馬郡川原代村木村家文書		55	3
33	出羽国久保田佐竹家家中小貫家文書		56	3
	出羽国秋田郡大館佐竹家家中武茂家文書			
	出羽国秋田郡十二所佐竹家家中岡本家文書			
34	出羽国秋田郡南比内二井田村一関家文書		56	3
35	美濃国山県郡東深瀬村林家文書		57	3
36	和泉国大鳥郡上神谷豊田村小谷家文書		57	9
37	信濃国松代真田家文書(その二)		58	3
38	越後国頸城郡岩手村佐藤家文書(その一)		58	10
39	三河国八名郡乗本村菅沼家文書		59	3
40	信濃国松代真田家文書(その三)		60	3
41	信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書(その一)		60	3
42	武蔵国多摩郡蔵敷村鈴木家文書		60	3
43	信濃国松代真田家文書(その四)		61	3
44	信濃国安鐰郡保高町村小川家文書		61	3
45	信濃国佐久郡御影新田村柏木家文書		62	3
46	紀伊国伊都郡慈尊院中橋家文書		63	3
47	相模国大住郡土屋村原家文書(その一)		63	3
48	信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書(その二)		平成元	3
49	越後国頸城郡岩手村佐藤家文書(その二)		元	3
50	信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書(その三)		2	3
51	信濃国松代真田家文書(その五)		2	3
52	越後国頸城郡岩手村佐藤家文書(その三)		3	3
53	出羽国田川郡大山村大滝(直之助)家文書		3	3
54	陸奥国白河郡踏瀬村箭内家文書(その一)		3	3
55	陸奥国白河郡踏瀬村箭内家文書(その二)		4	3
56	武蔵国大里郡大麻生村古沢家文書(その一)		4	3
57	日本実業史博物館旧蔵古紙幣		4	3
史料館叢	書			
1	寛文朱印留・上	東京大学出版会	昭和55年	₹3月
2	寛文朱印留・下	"	55	3

3	津軽家御定書	東京大学出版会	昭和56年	2月
4	播磨屋中井家永代帳	"	57	3
5	徳島藩職制取調書抜・上	"	58	3
6	徳島藩職制取調書抜・下	"	59	3
7	依田長安一代記	"	60	3
8	真田家家中明細書	"	61	3
9	大塩平八郎一件書留	"	62	3
10	近江国鏡村玉尾家永代帳	"	63	3
別卷〕	明治開化期の錦絵	,,	平成元	3

5-3 紀要等内容一覧

国文学研究資料館紀要

第1号~第8号略(「十年の歩み」参照)

第9号(昭58.3)

7, c 2 (1200 c)				
土佐日記論	平	澤	龍	介
三十六人歌仙伝補考 一古今和歌集目録との先後関係の再確認-	新	藤	協	Ξ
松花和歌集巻第六以下の零本(紹介と翻刻)	福	田	秀	_
絵解き「苅萱」考	小	林	健	=
版本・ぢんてき問答 一翻刻と解題一	渡	邉	守	邦
高見順〈文学非力説〉を繞って	奥	出		健
UNISIST-RM:覚えむ	内	藤	衛	亮
第10号(昭59.3)				
竹取物語断簡新出二葉 - (付)延べ書き「富士山記」-	髙	田	信	敬
公任年譜考	伊	井	春	樹
謡曲「小林」考	小	林	健	=
童観鈔 一翻刻と解題一	渡	逄	守	邦
川端康成作品分析「化粧」「ざくろ」「水月」	キン	ヤ・	ツル	レタ
『新風』事件始末 一高見順の時代一	奥	出		健
続現葉・臨永・松花三集作者索引	福	田	秀	_
20世紀後半における文学基盤の変化の指標について	Ш	中	光	_
第11号(昭60.3)				
狭衣物語主題攷 -月と心探しの構図-	阿	部	好	臣
引歌攷 -物語のことばについての覚え書き-	末	澤	明	子

今昔物語集の表現形成	小	峚	和	明
中世往生伝研究 -往生伝の諸相と作品構造-	田	嶋		夫
欧米における日本中世文学の研究と紹介	福	田	秀	_
加能連歌壇史藁草・その二(前) - 能順伝資料・その五-	棚	町	知	弥
巵言抄 ー翻刻と解題ー	渡	邉	守	邦
なぞの本(翻刻)	岡		雅	彦
第12号(昭61.3)				
「歌仙二葉抄」と「歌仙傳」 一三十六人歌仙伝続考一	新	藤	恊	Ξ
乳母の基礎的研究	吉	海	直	人
大鏡の語り -菩提講の意味するもの-	小	峯	和	明
竹の子三本雪の中 -孝子孟宗譚の日本的展開-	母	利	訶	朗
二世十返舎一九の漂泊 - 盛田家文書について-	本	田	康	雄
国文学研究资料館蔵マイクロ資料目録データから推計される近世の出版の変化	山	中	光	_
能順伝資料・その七 翻刻・聯玉集(乾・坤) 附・能順交遊人名索引(稿)	棚	町	知	弥
第13号(昭62.3)				
落窪物語の語彙 - 特に漢語、人称代名詞、所謂人称代名詞をめぐってー	フリ	ッツ	・ファ	ナス
狭衣物語と法華経	小	峯	和	明
国文学研究資料館所蔵『住吉物語』の翻刻と研究	吉	海	直	人
天理大学附属天理図書館蔵吉田文庫本八幡宮愚童記(翻刻)	小	野	尚	志
加能連歌壇史薒草・その二(中) - 能順伝資料・その八-	棚	町	知	弥
八文字屋の末路	長名	川名		強
新畸人伝	岡		雅	彦
"もののあはれ" -日本人のアイデンティティ(英文)	百	Щ	敬	仁
第14号(昭63.3)				
「仲文章」瞥見	山	崎		誠
「澄印草等」について	小	峯	和	明
「簠簋抄」以前 ー狐の子安倍の童子の物語ー	渡	逄	守	邦
百人一首抄版本二種の翻刻と解題 -幽斎抄と新抄と-	吉	海	直	人
草双紙合巻から新聞小説へ -開化期文化の底流-	本	田	康	雄
川端文学における作品終結の原理	マニ	コト・	・ウニ	Lダ
第15号(平元.3)				
平安朝の乳母達	吉	海	直	人
宇治拾遺物語の表現時空 ーひしめくものー	小	峯	和	明
式家文選學一斑 -文選集注の利用-	山	崎		誠
〈狐の子別れ〉文芸の系譜	渡	邉	守	邦

翻刻「ҍわたまし抄」	竹	下	義	人
加能連歌壇史藁草・その二(後) - 能順伝資料 その十-	棚	町	知	弥
国文学原文献資料データベースシステムの開発	安	永	尚	志
第16号(平2.3)				
「歌仙傳」本文拾遺 —三十六歌仙伝追考—	新	藤	恊	Ξ
宇治拾遺物語論 - 〈もどき〉の文芸-	小	峯	和	明
三井寺流唱導遺響 -「拾珠抄」を遶って-	山	崎		誠
翻刻「くらひの大事他」	樹	下	文	隆
『落穂集』(南部家本)の翻刻と解題 一元禄期江戸雅文壇資料紹介一	松	野	陽	_
『盤わたまし抄』の成立をめぐって	竹	下	義	人
元禄期の咄本零本二種	岡		雅	彦
新聞小説の成立 一熊本新聞を読んでー	本	田	康	雄
国文学データベースの形成、管理、利用	安	永	尚	志
第17号(平3.3)				
「類林」追考 ー中世史漢物語の源流ー	山	崎		誠
真福寺蔵『釈迦如来八相次第』について -中世仏伝の新資料-	小	峯	和	明
連歌寄合書のゆくえ	深	澤	真	=
元禄五年調和点前句付清書卷				
ー国文学研究資料館蔵『調和前句付巻』の紹介-	竹	下	義	人
室鳩巣蛰翰拾遺	宮	﨑	修	多
畑中荷沢書誌〈華字著作編〉 一附〈翻刻〉『滕太問答』—	松	野	陽	
新聞小説の発生 -東京絵入新聞を読んで-	本	田	康	雄
CD-ROMによる国文学研究材料データベースの配布	北	村	啓	子
第18号(平4.3)				
人麿展墓の伝統 -人麿信仰の一展開-	佐人	₹木	孝	浩
翻刻・紹介 八戸市立図書館本『古今和歌集見聞』	佐	伯	眞	-
二条良基周辺の源氏学 -国文学研究資料館蔵『光源氏一部連歌寄合』の				
紹介と翻刻一	加	藤	洋	介
「平安韻字集」小識	Ш	崎		誠
真福寺蔵『釈迦如来八相次第』・翻刻	小	峚	和	明
「四座御役者手鑑」の翻刻と解題	樹	下	文	隆
翻刻紹介「告鷃鵡盃」	岡		雅	彦
新聞小説と坪内逍遥 一読売新聞を読んでー	本	田	康	雄
日本古典文学作品本文データベースの開発とデータ記述文法について	安	永	尚	志

調査研究報告

第1号(昭55.3)

研究報告

中田剛直氏蔵本目録稿

高田信敬 伊井春樹

畠山記念館蔵古筆切紹介

伊井春樹

表紙模様記述用語集成(一)

福田秀一 村上 學 徳田和夫

既刊蔵書印譜索引稿(印文篇)

松田 修 渡邉守邦 島原泰雄

日本漢文学関係資料の調査・収集について 一、調査・収集の範囲と実施上の留意点

中川徳之助

二、近世漢文学の立場から

徳田 武

芸能関係資料の調査・収集について -利用者の立場で-

室木彌太郎

研究余録

増上寺「文化財特別閲覧」記 -南北朝頃の私撰集断簡と広沢切-

福田秀一

海外の絵巻、奈良絵本(在外資料)について

徳田和夫

調査報告

収集報告

委員会報告

調査カードの改訂について

共同研究報告

第2号(昭56.3)

研究報告

古筆切索引稿 - 既刊古筆手鑑篇 -

伊井春樹 高田信敬

表紙模様集成稿(一)

福田秀一 村上 學 小林健二

既刊蔵書印譜索引稿(人名篇)

松田 修 渡邊守邦 島原泰雄

国学院高等学校藤田小林文庫蔵風流踊歌本解題稿

真鍋昌弘

凱香園文庫の浄瑠璃正本について

松崎 仁

「中田剛直氏蔵本目録稿」訂正および追加

高田信敬

調查報告

収集報告

ケンブリッジ大学図書館未整理本リスト抄

福田秀一

第3号(昭57.3)

研究報告

逸翁美術館蔵国文学関係資料解題

代表 伊井春樹

既刊蔵書印影索引稿(印文篇)

島原泰雄 棚町知弥 渡邉守邦

松井家蔵妙庵手沢謡本識語控

伊藤正義

彦根市立図書館琴堂文庫蔵狂言関係書目解題稿

橋本朝生

調查報告

収集報告

ルール大学ボッフム東亜学部図書館所蔵和装本目録(摘録)

福田秀一

第4号(昭58.3)

研究報告

古筆名葉集序説 -飜字・索引-

伊井春樹 新藤協三 高田信敬

大英図書館蔵国書関係解題

既刊蔵書印影索引稿(人名篇)

伊井春樹 村上 學 小林健二

表紙模様集成稿(二)

渡邉守邦

「尊師講式」をめぐって 一解説と翻刻ー

山田昭全

調査報告

収集報告

ボン大学日本文化研究所蔵トラウツ文庫目録

福田秀一

第5号(昭59.3)

研究報告

古筆の模刻 - 『浪華帖仮名巻』と『梅園奇賞』-

「浪華帳仮名巻」影印・飜字・解説

高田信敬

小林健二

『梅園奇賞』所収古筆資料の影印・飜刻と解題

伊井春樹 新藤協三

表紙模様集成稿(三)

渡邊守邦 島原泰雄

影印改編・博愛堂集古印譜

室町期和歌資料の翻刻と解説 - 〔堯尋三十三回忌追善和歌〕・

日吉社壇詠二十一首和歌・和歌秘伝書・古今和歌東家極秘ー

井上宗雄

福井大学附属図書館蔵『大織冠』翻刻

服部幸造

調査報告

収集報告

カリフォルニア大学バークレー校旧三井文庫写本目録稿

長谷川強 渡邉守邦 伊井春樹 日野龍夫

第6号(昭60.3)

研究報告

早大図書館蔵教林文庫目録稿

阿部好臣 小峯和明 新藤協三 田嶋一夫

表紙模様集成総索引

小峯和明

影印改編・博愛堂集古印譜

渡邉守邦 島原泰雄

源氏物語青表紙本の書写伝来の一形態 -室町期以来の寄合書と一筆書-

池田利夫

「澹庵歌話」 -解題と翻刻-

嶋中道則

ロンドン大学東洋アフリカ学部図書館所蔵和古書目録(摘録) 福田秀一 母利司朗

調査報告

収集報告

第7号(昭61.3)

研究報告

「二十四孝」諸版解題 -嵯峨本模刻版の部-

母利司朗

表紙裏の反古

渡邊守邦

稀本零葉集八種索引稿

母利司朗 島原泰雄 渡邊守邦

幸田成友輯「蔵書印譜」

島原泰雄 渡邉守邦

早大図書館蔵教林文庫本翻刻 -山王関係資料三種-

田嶋一夫 小峯和明

翻刻・轍士編「墨流し わだち第五」

翻刻「当道要集(要抄)」三種

雲英末雄 鈴木孝庸

調査報告

収集報告

第8号(昭62.3)

研究報告

板木の修訂

長谷川強

『二十四孝』諸版解題続稿 -松会版以後の部-

母利司朗 吉海直人

百人一首類魯刊行目録稿

田嶋一夫 小峯和明

日吉山王関係目録稿(一)

母利司朗 島原泰雄 渡邊守邦

絵引き式蔵書印索引の試み

島原泰雄 渡邊守邦

早大図書館蔵教林文庫本翻刻 -山王関係資料二種-

田嶋一夫 小峯和明

翻刻・『瓢海音集』

稀本零葉集索引続稿

雲英末雄

調査報告

収集報告

カリフォルニア大学バークレー校旧三井文庫写本目録稿追加

岡 雅彦

第9号(昭63.3)

研究報告

百人一首絵入注釈本について -新出資料「三略抄」を中心に-

有吉 保

百人一首類魯刊行目録稿(二)

吉海直人

カリフォルニア大学バークレー校旧三井文庫蔵御会関係資料細目稿

資料紹介 U·Cバークレー校蔵『古事類』 -もう一つの『連集良材』-

渡邉守邦

(翻刻)旧三井文庫本「耳礙」(巻一)

長谷川強

早大図書館蔵教林文庫本翻刻(三) -山王関係資料三種-

小崟和明

稀本零葉集四種索引稿

竹下義人 樹下文隆 渡邊守邦

渡邊守邦 竹下義人 樹下文隆

禁裡御蔵書目録考證稿(一)「桂宮書籍目録」(翻刻)

山崎 誠

調査報告

収集報告

願文用語略稿

渡邊秀夫

第10号(元.3)

研究報告

伊勢大輔集流布本系の本文

久保木哲夫

鎌倉時代物語研究文献目録稿

吉海直人

(飜刻)旧三井文庫本「耳囊」(巻之二)

長谷川強

影印・古活字版『大坂物語』零本-稀本零葉集索引稿番外-

樹下文隆

稀本零葉集索引稿番外編『謡本於裳佳介』の零葉

川崎 誠

早大図書館蔵教林文庫本飜刻(四) -山王関係資料二種-

小峯和明

百人一首基礎資料稿

吉海直人

影印改編・古今蔵書家印記

禁裡御蔵書目録考證考(二)

渡避守邦

調查報告

収集報告

調査研究報告既刊号総目次(1号~10号)

第11号(平2.3)

研究報告

六々私抄から歌仙拾穂抄へ -三十六歌仙歌注釈史稿(一)-

新藤協三

平安鎌倉期・願文表白年表稿

小峯和明 山崎 誠

(翻刻)連歌寄合書『玉拾集』

江戸堂上派撰集書誌稿

深澤真二 松野陽一

稀本零葉集索引稿 一付、甞名綜合索引一

竹下義人 樹下文隆

禁裡御蔵書目録考證稿(三)

山崎 誠

早大図書館蔵教林文庫本翻刻(五) -山王関係资料二種-

小盗和明

調査報告

収集報告

ハーバード大学燕京図書館蔵和書簡略目録・1

岡 雅彦

イェール大学蔵・日本文書コレクション目録

第12号(平3.3)

研究報告

和字絵入往生要集について

宮 次男

早大図書館蔵教林文庫本翻刻(六) -山王関係資料三種-小峯和明 安居院唱導資料纂輯 小峯和明 山崎 誠 (索引)連歌寄合書『玉拾集』 深澤真二 「松雲公採集遺編類纂」書籍部とその研究 山崎 誠 江戸武家雅文壇「和文題 | 集成稿(一) 松野陽一 表紙模様集成続稿(一)植物篇 樹下文隆 竹下義人 稀本零葉集索引稿 一拾遺 竹下義人 樹下文降 調査報告 収集報告 第13号(平4.3) 研究報告 一首歌仙本『三十六人歌合』の諸形態 -三十六歌仙注釈史稿(二)-新藤協三 (翻刻)石野広通『源語演説鈔』 松野陽一 真福寺本奥書集成(一) 書名索引 山崎 誠 安居院唱導資料纂輯(二) 山崎 誠 小峯和明 早大図書館蔵教林文庫翻刻(七) -山王関係資料三種-小峯和明 京都大学附属図書館蔵平松家本第七門(国文類)目録稿 深澤真二 在外文献资料の紹介(一)咄本二種 岡 雅彦 表紙模様集成続稿(二) 樹下文隆 竹下義人 稀本零葉集索引稿 - 続拾遺 竹下義人 樹下文隆 調査報告 収集報告 史料館研究紀要 第1号~第13号略(「十年の歩み | 参照) 第14号(昭57.9) 大名留守居組合における互通文書の諸類型 笠 谷 和比古 近世史料所在情報体系化試論 山田哲 好 冊子型史料の形態表示について 原島陽一 関東農村の荒廃と尊徳仕法 -谷田部藩仕法を事例に-大 藤 修 岡田良一郎言論関係文書の紹介(一) 大 藤 修 翻刻・寛政期森傳右衛門尹祥編「 書札礼 | (一) - 解題編-藤 村 潤一郎 故榎本宗次氏の人と業績 第15号(昭58.9)

安澤秀一

ブラック・アフリカ諸国における文書館とアーキヴィスト養成課程

江戸上下飛脚屋と木原店	藤	村	潤一	郎
天明期江戸両替屋役金一件	鶴	圌	実枝	.子
岡田良一郎言論関係文書の紹介(二)	大	藤		修
第16号(昭59.9)				
史料保存利用施設の国際環境 -史料館=文書館学序論のための覚書-	安	澤	秀	-
近世地方文書用字考	浅	井	潤	子
幕末維新期村落女性のライフ・コースの研究(一)				
ー江戸周辺 、武州荏原郡太子堂村の事例ー	森		安	彦
翻刻飛脚関係摺物史料(一)	藤	村	潤一	郎
第17号(昭60.9)				
近世史料の整理と目録編成の理論と技法				
-信州松代八田家(商家)文書の整理と目録編成を事例に-	大	藤		修
1984年在外研究報告				
史料整理と検索手段作成の理論と技法 - 欧米文書館の経験と現状に学ぶ-	安	藤	E	人
幕末維新期村落女性のライフ・コースの研究(二)				
-江戸周辺、武州荏原郡太子堂村の事例 -	森		安	彦
翻刻飛脚関係摺物史料(二)	藤	村	潤一	郎
第18号(昭61.9)				
主君「押込」慣行の形成過程(一) -古田騒動と伊達騒動を中心に-	笠	谷	和比	古
翻刻「縣令雑書」	藤	村	潤一	郎
真田家役職一覧	原	島	陽	-
第19号(昭63.3)				
「御用留」の性格と内容(一) -武州荏原郡上野毛村「御用留」の検討-	森		安	彦
主君「押込」慣行の形成過程(二)	笠	谷	和比	古
〈翻刻・三題〉	藤	村	潤一	郎
「延宝以来御飛脚筋其他手扣」				
原長右衛門「書法録」他 -農家文書の書礼-				
「寛保元・三年手板組中日記」				
第20号(平元. 3)				
佐賀城下毰帳の研究	松	本	四	郎
近世農民の生業と生活 ー信濃国諏訪郡瀬沢村坂本家の場合-	渡	邊	尚	志
断截史料の復元補修 一髙島藩村々宗門改人別帳についてー	原	島	陽	-
第21号(平2.3)				
近世淡路の棒役負担について	高	橋		啓
農民的土地所持と村落共同体	渡	邊	尚	志

「御用留」の性格と内容(二) -武州荏原郡上野毛村「御用留」の検討-安 彦 森 アーキビストの教育と養成をめぐる新しい波 -ICA国際シンポジウムの諸報告- 訳・解説 安 藤 正 人 史料館研究紀要既刊総目次(第1号~第20号) 第22号(平3.3) 「御用留」の性格と内容(三) -武州荏原郡上野毛村「御用留」の検討-森 安 彦 近世文書論序説(上) -近世文書の特質とその歴史的背景についての素描ー 大 藤 修 山田哲好 史料館における史料保存活動 廣瀬 睦 第23号(平4.3)史料館40周年記念特集 交流する伝説 - 豊後の真野長者伝説から奥州の白鳥伝説へ-平川 新 「御用留」の性格と内容(四) -武州荏原郡上野毛村「御用留」の検討-森 安彦 上野国寛文郷帳諸写本の検討 丑 木 幸 男 近世文書論序説(中) -近世文書の特質とその歴史的背景についての素描-大 藤 修 近世社会における文書管理と文書認識 -美濃国加茂郡蜂屋村を事例に-大友一雄

- ICA国際シンポジウムの報告を中心に-

安藤正人

中国におけるアーキビストの教育と養成

資料6 研究集会・講演会・講習会・展示

6-1 国際日本文学研究集会 (第5回までは「十年の歩み」参照)

回	年 月 日	主 な 内 容	参加者数(国外)
第6回	昭和57年(1982) 11月10日 ~11月13日	研究発表 6 件 招待発表 7 件 特別講演 ケネス. B. ガードナー「美術品としての日本の	117人(37人)
第7回	昭和58年(1983) 11月11日 ~11月12日	研究発表 5 件 公開講演 金一根「十八世紀諷刺文学の韓日対比 考察ー朴趾源と平賀源内を中 心にー 」 佐伯彰一「自伝ー東と西ー」	69人(17人)
第8回	昭和59年(1984) 11月9日 ~11月10日	研究発表 6 件 公開講演 ハワード・S・ヒベット「江戸文学のユーモア」 阪倉篤義「ヲカシの系譜」	103人(35人)
第9回	昭和60年(1985) 11月8日 ~11月9日	研究発表 5 件 公開講演 フリッツ・フォス「ロマンとしての落窪物語」 松村明「鶴峯戊申『語学新書』とその 背景」	83人(26人)
第10回	昭和61年(1986) 11月13日 ~11月15日	研究発表12件 シンポジウム「日本文学史について」 加藤周一、ドナルド・キーン、 小西甚一、芳賀徹(司会) 公開講演 マコト・ウェダ「日本文学における「終わり」 の感覚」 ジャンージャック・オリガス「「寫す」ということ ー近代文学の成立と小説論ー」	165人(49人)
第11回	昭和62年(1987) 11月6日 ~11月7日	研究発表 9 件 公開講演 ローラント・シュナイダー 「日本文学におけるパロディー 一近世的受容方法としてのパロディーー」 パトリック・G・オニール 「曲舞」	99人(28人)
第12回	昭和63年(1988) 11月11日 ~11月12日	研究発表 9 件 公開講演 カレン・ブラゼル「阿修羅の変容-須弥山の海 から日本の舞台まで- 」 郡司正勝「風流と見立て」	95人(32人)

回	年 月 日	主 な 内 容	参加者数(国外)
第13回	平成元年(1989) 11月10日 ~11月11日	研究発表8件 公開講演 スミエ・ジョーンズ「戯作の作者・作者の戯作」 秦 恒平 「春琴と佐助ー「読む」と いう事ー」	90人(20人)
第14回	平成2年(1990) 11月16日 ~11月17日	研究発表 9 件 公開講演 カレル・フィアラ「平家物語の文章の研究」 福島和夫「王朝の楽人達 一音楽史の一断面ー」	81人(26人)
第15回	平成3年(1991) 11月8日 ~11月9日	研究発表9件 公開講演 日野龍夫「江戸時代の随筆をめぐって」 ジャン-ジャック・オリガス「遠いものと近いもの と一正岡子規の現実意識ー」	80人(34人)

6-2 国文学とコンピュータシンポジウム

□	年 月 日	主 な 内 容	参加者数
第1回	平成2年(1990) 2月20日	講 演 安永尚志 国文学研究資料館における コンピュータの現状 村上 學 エンド・ユーザの視点から 石田晴久 大型コンピュータとパーソナ ルコンピュータ 北村啓子 国文学研究とパーソナルデータベース パネル討論 テーマ 国文学研究とコンピュータ (将来像を含めて) パネラー 5名	80人
第2回	平成 2 年 (1990) 12月14日	講 演 安永尚志 古典本文データベースの作成状況 新井栄蔵 古典本文データベースとその 検索をめぐって 内田保廣 「近世説美少年録」の機械可 読テキスト作成過程について 萩谷昌己 ワークステーション上の日本 語処理などについて 村上征勝 統計的手法による日連遺文の 文体研究 歴史研究支援システムの研究 北村啓子 古典テキストCD-ROMシステム 特別講演 長尾 真 大規模テキストデータベース と辞書作成 パネル討論 テーマ 国文学本文データベースの諸問題 パネラー 6名	90人

□	年 月 日	主な内容	参加者数
第3回	平成3年(1991) 12月13日	研究発表 8 件 特別講演 星野 聰 ノート型パソコンとCD書 込みシステムの利用経験	115名

6-3 国文学データベース研究集会

回	年 月 日	主 な 内 容	参加者数
第1回	平成3年(1991) 11月2日	講 演 福嶋昭治 私家集データベースをめぐって 討 議 国文学データベースについて その他 国文学論文目録データベースデモンスト レーション	30人
第2回	平成4年(1992) 10月2日	講演 五島邦治 個人研究のためのデータベース 一特に歴史史料を扱うについて一 両角倉一 連歌のデータベースの研究動向 安永尚志 日本古典文学作品データベース の諸問題	40人

6-4 公 開 講 演 会

公開講演会

(第15回までは「十年の歩み」参照)

	4 - 4-	- L - L - L - L - L - L - L - L - L - L	Δ
回	年 月 日	講師と演題	会 場
第16回	昭和57年6月12日	今井 源衛 九州における国文学資料と私 中村 幸彦 実録研究網領	福岡市・ 国際ホール
第17回	昭和57年10月30日 創立十周年記念	中村真一郎 海外における日本文学 金子金治郎 連歌の今日	当館大会議室
第18回	昭和58年6月11日	キンヤ·ツルタ 近代文学における「向こう側」の空間 前田 愛 文学テキストの空間性について	当館大会議室
第19回	昭和58年10月22日	原田 隆吉 狩野文庫と狩野博士 金沢 規雄 『奥の細道』をめぐって	仙台市・読売 ホール
第20回	昭和59年6月9日	大岡 信 研究と創作の間 小島 憲之 わたくしなりのもの学び-日本文学に おける漢語の表現-	当館大会議室
第21回	昭和59年10月27日	稲岡 耕二 人麻呂の声調 後藤 重郎 撰集の「うた」	名古屋市・長 円寺会館ホール
第22回	昭和60年6月8日	棚町 知彌 連歌研究の明日 板坂 元 アメリカにおける日本学	当館大会議室
第23回	昭和60年10月26日	室木彌太郎 笠舞と加賀踊と 小山 弘志 能と狂言	金沢市·石川県 社会福祉会館
第24回	昭和61年6月7日	檜谷 昭彦 西鶴晩年の動向 島津 忠夫 和歌史の構想	当館大会議室
第25回	昭和61年10月18日	伊井 春樹 物語の作者と読者 和田 茂樹 子規と漱石	松山市・子規 記念博物館
第26回	昭和62年 6 月13日	寿岳 章子 雁の世界 前田金五郎 西鶴雑談	当館大会議室
第27回	昭和62年10月24日	鈴木 亨 芭蕉のこころ 木村 正中 王朝日記文学の本質	松江市・島根 県民会館
第28回	昭和63年6月4日	徳田 武 馬琴の中国小説評 池田 重 世界の中の日本文学	当館大会議室
第29回	昭和63年10月29日	本田 康雄 熊本の文明開化-新聞小説の発生- 荒木 尚 細川幽斎の文事	熊本市立図書 館
第30回	平成元年 6 月24日	ジャクリーヌ・ピジョー 御伽草子の「空間」 一都・鄙・異境などー 神作 光一 百人一首の世界	当館大会議室
第31回	平成元年10月21日	亀井 秀雄 遠景の人たち-夏目漱石の世界- 小山 弘志 世阿弥について	北海道大学学 術交流会館

	年 月 日	講 師 と 演 題	会 場
第32回	平成2年6月23日	ウィリアム・ラフルーア 花と阿修羅 山田 昭全 風に靡く富士の煙の行方	当館大会議室
第33回	平成 2 年10月27日	篠原 昭二 光源氏と冷泉院 片桐 洋一 小野小町の歌の場	大阪市・大阪府 中小企業文化会館
第34回	平成3年6月22日	森川 昭 おくのほそ道「暑き日や」の周辺 澤木 欣一 俳句の特性	当館大会議室
第35回	平成3年10月26日	新藤 協三 三十六歌仙の伝播と享受 菊田 茂男 貫之の悲嘆-「土佐日記」の世界-	山形大学教育 学部
第36回	平成4年6月20日	小西 甚一 「源氏物語」と「豊饒の海」 -三島由紀夫の古典受容- 小田切 進 日本文学における近代と現代	当館大会議室

夏期公開講演会

(第4回までは「十年の歩み」参照)

	年 月 日	講 師 と 演 題	会 場
第5回	昭和57年9月2日 ~4日	主題「日本の歌謡」 中西 進 古代歌謡の発想 新間 進一 「梁塵秘抄」について 外村南都子 早歌から能謡へ 浅野 建二 「さんさ時雨」考 外間 守善 南島歌謡 臼田甚五郎 歌謡文学の諸問題	当館大会議室
第6回	昭和58年7月21日 ~23日	主題「日記と文学」 井上 宗雄 記録と国文学 村井 康彦 王朝期の日記(摂関全盛期の日記) 目崎 徳衛 院政期の日記 栃木 孝惟 王朝から中世へ 岩佐美代子 天皇の日常と思索-花園院宸記- 徳江 元正 咄の生いたち-多聞院日記・大乗院寺 社雑事記-	当館大会議室
第7回	昭和59年7月26日 ~28日	主題「日本文学と中国文学」 大曽根章介 平安時代の説話と中国文学 池田 利夫 漢籍受容と源氏物語 増田 欣 中世歴史文学と中国文学 冨士 昭雄 近世の剪燈新話受容の諸相 芳賀 徹 桃源郷の系譜ー陶淵明から漱石へー 高田 衛 中国白話小説と初期読本	当館大会議室

回	年 月 日	講 師 と 演 題	会 場
第8回	昭和60年7月25日 ~27日	主題「近世の日記・記録」 鳥越 文藏 芸能の記録	当館大会議室
第9回	昭和61年7月24日 ~26日	主題「軍記物語の展開」 犬井 善	当館大会議室
第10回	昭和62年7月23日 ~25日	主題「本の話」 尾崎 康 写本から版本へ-中国印刷史序説- 伊地知鐡男 日本の本-書物の装幀- 松平 進 挿絵本と絵本 久曽神 昇 古筆 長友千代治 江戸の本屋 朝倉 治彦 図書館・文庫事情-沿革と現状-	当館大会議室
第11回	昭和63年7月28日 ~30日	主題「仏教と文学」 丸山キヨ子 源氏物語の仏教-光る君の場合- 三木 紀人 中世説話-遁世者の面影- 高木きよ子 西行の和歌に見られる迷いの諸相 今成 元昭 日蓮の法語 中川徳之助 日本禅僧の詩 関山 和夫 説教と話芸	当館大会議室
第12回	平成元年 7 月27日 ~29日	主題「近世演劇ー歌舞伎と人形浄瑠璃」 鳥居フミ子 元禄期の江戸浄瑠璃 服部 幸雄 南北劇の構図 原 道生 近松の「義理」 廣末 保 近松の発見した世話〈悲劇〉の意味 一「心中天の網島」によって一 守屋 毅 元禄期の「芝居小屋」 土田 衛 歌舞伎の台帳	当館大会議室
第13回	平成2年7月26日 ~28日	主題「上代の文学」 曽倉 岑 人麻呂の創造 阿蘇 瑞枝 万葉の旅ー遺新羅使人歌を中心に一 青木 和夫 歴史学からみた古代の孤独 直木孝次郎 柿本人麻呂と大伴家持 一史的背景からみたその歌風ー 金井 清一 古事記と日本書紀の違い 一天照大御神の扱い方ー 西宮 一民 神武紀・記の記述	当館大会議室

回	年 月 日	講師と演題	会 場
第14回	平成3年7月25日 ~27日	主題「江戸から東京へー継承と創造ー」 小池 正胤 「こじつけ」の手法、「むだ」の意味 一戯作表現の系譜ー 野山 嘉正 詩の近代 ー「新体詩抄」の周辺ー 浅井 清 文明開化とお雇い外国人教師 古田 東朔 標準語への動き 野村 喬 幕末大坂の歌舞伎狂言 平岡 敏夫 近代小説成立の前夜 ー埋没小説二、三をめぐってー	当館大会議室
第15回	平成4年7月29日 ~31日	主題「国文学研究-資料と情報-」 小本 和明 中世の唱導と寺院資料 伊藤 正義 文献調査とその資料性 -西教寺・正教蔵本を中心として- 竹本 幹夫 幕藩体制下の能楽 -演能記録データベースと江戸時代 能楽史ー 長谷川 強 江戸の元禄 -世間咄風聞集の世界- 星野 聴 景観画像の文学への利用 今井 源衛 文献資料との対応	当館大会議室

☆ 6-5 調査員会議講演

年 月 日		講師と演題
昭和49年5月22日	山岸 徳平	書物の装訂について
昭和50年 5 月27日	松尾 聰	国文学文献資料の調査収集について
昭和51年5月19日	尾形 仂	資料採訪あれこれ
昭和52年 5 月12日	小松 茂美	古筆切について
昭和58年 5 月26日	川瀬 一馬	古書に於ける偽妄について
昭和59年 5 月22日	橋本不美男	私の書誌探求
昭和60年 5 月21日	宗政五十緒	版本研究の諸問題
昭和61年5月20日	雲英 末雄	俳書の世界
昭和62年 5 月28日	有吉 保	百人一首の古注釈について -展示解題を兼ねて-
昭和63年 5 月26日	久保木哲夫	古筆资料と私家集研究
平成元年 5 月30日	大曽根章介	本朝文粋の成立
平成 2 年 5 月29日	宮 次男	和字絵入往生要集について
平成3年5月23日	富士 昭雄	西鶴の艶隠者
平成4年6月2日	江本 裕	西鶴遺稿集について

特別展示

(第10回までは「十年の歩み」参照)

П	年 月 日	内 容
第11回	昭和57年9月2日 ~8日	新収资料展
第12回	昭和57年10月29日 ~11月13日	創立十周年記念特別展(館蔵貴重書展) 国文学関係39点、史料館関係27点
第13回	昭和58年11月1日 ~15日	中世歌論皆展 一久松家寄託資料一
第14回	昭和59年11月1日 ~15日	蔵 書印展
第15回	昭和60年11月1日 ~15日	新収資料展 一昭和57~59年度期-
第16回	昭和61年11月1日 ~15日	古今集 一初雁文庫本を中心として一
第17回	昭和62年11月2日 ~14日	絵巻・絵本ならびに版本の挿絵
第18回	平成元年11月1日 ~15日	新収資料展 -昭和60~62年度期-
第19回	平成3年11月1日 ~15日	新収資料展 一昭和63~平成2年度期-

常設展示

(第15回までは「十年の歩み」参照)

0	年 月 日	内容
第16回	昭和57年5月7日~7月10日	八犬伝とその周辺
第17回	昭和57年7月19日~8月26日及び 9月13日~10月21日	徒然草
第18回	昭和57年12月 1 日 ~昭和58年 3 月24日	江戸から明治へ
第19回	昭和58年4月11日~6月25日	日本古典文学史
第20回	昭和58年7月4日~9月29日	史書と日記 一古代・中世一
第21回	昭和58年10月11日〜24日及び 11月18日〜12月26日	近世前期の文学
第22回	昭和59年1月17日~3月24日	平安朝物語

回	年 月 日	内容
第23回	昭和59年4月23日~6月23日	和書のさまざま
第24回	昭和59年7月2日~9月22日	源氏物語
第25回	昭和59年10月8日〜24日及び 11月19日〜12月15日	近世後期の文学
第26回	昭和60年1月16日~3月23日	古典文学の参考図書
第27回	昭和60年4月8日~6月22日	古典文学の流れ
第28回	昭和60年7月1日~9月21日	名所と文学
第29回	昭和60年10月1日〜24日及び 11月20日〜12月26日	上代の文学
第30回	昭和61年1月13日~3月22日	狂歌
第31回	昭和61年4月21日~6月28日	和書のさまざま
第32回	昭和61年7月21日〜10月18日及び 11月25日〜12月20日	徒然草
第33回	昭和62年1月19日~3月20日	平安朝物語
第34回	昭和62年4月13日~6月27日	和書のさまざま
第35回	昭和62年7月20日~9月26日	近世小説
第36回	昭和62年10月12日〜24日及び 11月24日〜12月26日	中世の文学
第37回	昭和63年1月18日~3月24日	源氏物語
第38回	昭和63年4月11日~6月18日	和書のさまざま
第39回	昭和63年7月18日~11月12日	名所と文学
第40回	昭和63年11月28日 ~平成元年 3 月24日	狂歌
第41回	平成元年4月17日~7月1日	和書のさまざま
第42回	平成元年7月17日~10月14日	平安朝物語
第43回	平成元年12月7日 ~平成2年3月24日	江戸から明治へ
第44回	平成 2 年 4 月16日~ 6 月30日	和書のさまざま
第45回	平成 2 年 7 月16日~ 9 月29日	上代の文学
第46回	平成 2 年10月15日~12月22日	徒然草

回	年 月 日	内容
第47回	平成 2 年 1 月21日 ~平成 3 年 3 月23日	古典文学の参考図書
第48回	平成 3 年4 月15日~6月29日	和書のさまざま
第49回	平成 3 年 7 月15日~10月12日	源氏物語
第50回	平成 3 年12月 2 日 ~平成 4 年 3 月14日	近世前期の文学
第51回	平成 4 年 4 月 13日~7月 3 日	和書のさまざま
第52回	平成 4 年 7 月20日~10月16日	中世の文学

6-7 近世史料取扱講習会・史料管理学研修会

1 近世史料取扱講習会

(昭和56年度までは「十年の歩み」参照)

年度	時期・場所 ・受講者数		講義題目	及び講師	
昭	57.10.18~22	古代中世史料論 神奈川大学短期大学部教授	網野 善彦	村方史料読解Ⅱ 史料館	浅井 潤子
和和	国文学研究	近世史料概論 I 福島大学教育学部教授	小林 清治	町方史料読解I同	大藤 修
57	資 料 館	近世史料概論Ⅱ 神戸大学法学部教授	大竹 秀男	町方史料読解Ⅱ 同	鶴岡実枝子
年	58名	近代史料概論 名城大学商学部教授	山崎 隆三	幕藩史料読解 I 同	笠谷和比古
世度		史料の保存科学		幕藩史料読解Ⅱ 同	大野 瑞男
		東京国立文化財研究所名誉研究員	岩崎 友吉	史料の整理管理 I 同	原島 陽一
第		近世の民俗資料		史料の整理管理Ⅱ 同	安澤 秀一
28		筑波大学歴史人類学系助教授	宮崎 登	史料の所在調査法 同	藤村潤一郎
回		史料の補修 宮内庁 ひ と 宮内	古関 豊		
~		村方史料読解 I 史料館	藤村潤一郎		
	58.10.3 ~ 7	文沓館学序論 史料館	安澤 秀一	史料の補修 字佐美国宝修理所長	宇佐美直行
	京都府立総合	古代中世史料概論		幕藩史料読解 史料館	藤村潤一郎
	资 料 館	神奈川大学短期大学部教授	網野 善彦	町方史料読解 同	大藤 修
昭	42名	近世史料概論 九州大学経済学部教授	秀村 選三	村方史料読解 同	安藤 正人
和		近代史料概論 明治大学文学部教授	海野 福寿	史料の整理管理 I 同	原島 陽一
58		史料の保存科学		史料の整理管理Ⅱ 同	安澤 秀一
年		東京国立文化財研究所名誉研究員	岩崎 友吉	史料の所在調査法 同	山田 哲好
度		近世の民俗资料 武蔵大学人文学部教授	福田アジオ		
第	58.10.17~21	文掛館学序論 史料館	安澤 秀一	史料の補修 宮内庁沓陵部専門官	古関 豊
29	国文学研究	古代中世史科概論 大阪大学文学部教授	黒田 俊雄	幕藩史料読解 史料館	笠谷和比古
	資 料 館	近世史科概論 武庫川女子大学文学部教授	大竹 秀男	町方史料読解 同	鶴岡実枝子
~	38名	近代史料概論 名城大学商学部教授	山崎 隆三	村方史料読解 同	浅井 潤子
		史料の保存科学		史料の整理管理 I 同	原島 陽一
		東京国立文化財研究所保存科学部長	江本 義理	史料の整理管理Ⅱ 同	安澤 秀一
		近世の民俗資料 元東京都教育庁主事	金山 正好	史料の所在調査法 同	山田 哲好
昭	59.10.1 ~ 5	文掛館学序論 史料館	安澤 秀一	史料の補修 宮内庁 音 と 宮内	古関 豊
和 59	京都府立総合	古代中世史科概論 中央大学文学部助教授	佐藤 進一	幕藩史料読解 史料館	森 安彦
年	資 料 館	近世史料概論 大阪大学文学部教授	脇田 修	町方史料読解 同	大藤 修
度(40名	近代史料概論 名城大学商学部教授	山崎 隆三	村方史料読解 同	浅井 潤子
第 30		史料の保存科学		史料の整理管理I同	原島 陽一
回		東京国立文化財研究所保存科学部長	江本 義理	史料の整理管理Ⅱ 同	安澤 秀一
_		近世の民俗資料 国立民族学博物館教授	杉本 尚次	史料の所在調査法 同	山田 哲好

年度	時 期・場 所 ・受講者数		講 義 題 目	及び講師	
177	59.10.15~19	文掛館学序論 史料館	安澤 秀一	史料の補修 宇佐美国宝修理所長	宇佐美直行
昭日和	国文学研究	古代中世史料概論 東京大学文学部教授	石井 進	幕藩史料読解 史料館	笠谷和比古
59 年	资料館	近世史料概論 明治大学文学部教授	木村 礎	町方史料読解 同	鶴岡実枝子
度	42名	近代史料概論 明治大学文学部教授	海野 福寿	村方史料読解 同	藤村潤一郎
第 30		史料の保存科学	•	史料の整理管理I同	原島 陽一
0		東京国立文化財研究所名誉研究員	岩崎 友吉	史料の整理管理Ⅱ 同	安藤 正人
		近世の民俗资料 国立歴史民俗博物館教授	福田アジオ	史料の所在調査法 同	山田 哲好
	60.10.14~18	文掛館学序論 史料館	安澤 秀一	史料の補修 宇佐美国宝修理所長	宇佐美直八
	京都府立総合	古代中世史科概論 東京大学文学部教授	石井 進	近世史料論 I (村方) 史料館	藤村潤一郎
昭	資料館	近世史料特論 千葉大学文学部教授	尾藤 正英	近世史料論Ⅱ(町方) 同	原島 陽一
和 和	36名	近代史料概論 明治大学文学部教授	海野 福寿	近世史料論Ⅲ(幕藩) 同	笠谷和比古
60		近世の民俗資料 生活史研究所代表	小泉 和子	史料の整理管理 I・IV 同	山田 哲好
年		史料の保存科学		史料の整理管理Ⅱ・Ⅲ 同	安藤 正人
度		東京国立文化財研究所保存科学部長	江本 義理		
第	60.10.28~	文掛館学序論 史料館	安澤 秀一	史料の補修 宮内庁 登 部専門官	古関 豊
31	11. 1	古代中世史科概論 中央大学文学部教授	佐藤 進一	近世史料論 I (村方) 史料館	浅井 潤子
31	国文学研究	近世史料特論 大阪大学文学部教授	脇田 修	近世史料論Ⅱ(町方) 同	鶴岡実枝子
	資 料 館	近代史料概論 埼玉県立浦和図書館長	吉本 富男	近世史料論Ⅲ(幕藩) 同	森 安彦
	39名	史料の保存科学		史料の整理管理 I 同	原島 陽一
		東京国立文化財研究所保存科学部長	江本 義理	史料の整理管理Ⅱ・Ⅲ 同	大藤 修
		近世の民俗资料 国立民族学博物館教授	杉本 尚次	史料の整理管理IV 同	山田 哲好
	61. 9 .29~	文苷館学序論 史料館	安澤 秀一	近世の民俗史料 群馬大学教育学部教授	西垣 晴次
	10. 3	古代中世史料概論		史料の補修 宮内庁背陵部修補師長	古関 豊
	京都府立総合	日本福祉大学経済学部教授	永原 慶二	近世史料論 I (幕藩) 史料館	森 安彦
昭	资 料 館	近世史料特論 大阪大学経済学部教授	作道洋太郎	近世史料論Ⅱ(町方) 同	鶴岡実枝子
和	41名	近代史料概論 埼玉県行政史組纂専門員	吉本 宮男	近世史料論Ⅲ(村方) 同	浅井 潤子
61		史料の保存科学		史料の整理管理I・IV 同	山田 哲好
年		東京国立文化財研究所保存科学部長	江本 義理	史料の整理管理Ⅱ・Ⅲ 同	大藤 修
	61.10.13~17	文掛館学序論 史料館	安澤 秀一	史料の補修 宇佐美国宝修理所長	宇佐美直八
第	国文学研究	古代中世史料概論		近世史料論 I (幕帯) 史料館	笠谷和比古
32	資 料 館	抵南大学国際言語学部教授	上島 有	近世史料論Ⅱ(町方) 同	原島 陽一
	42名	近世史料特論 千葉大学文学部教授	尾藤 正英	近世史料論Ⅲ(村方) 同	藤村潤一郎
		近代史料概論 東京大学社会科学研究所教授	大石嘉一郎	史料の整理管理 I・N 同	山田 哲好
		近世の民俗資料 生活史研究所代表	小泉 和子	史料の整理管理Ⅱ・Ⅲ 同	大藤 修
		史料の保存科学			
		東京国立文化財研究所修復技術部室長	増田 勝彦		

年度	時期・場所 ・受講者数		講 義 題 目	及び講師	
	62.10.5~9	文書館学序論 史料館	安澤 秀一		古関・豊
	大 阪 府公文 背館	史料と歴史研究A 奈良国立文化財研究所歴史研究室長	鬼頭 清明	近世史料論 I (幕藩) 史料館 近世史料論 II (町方) 同	笠谷和比古 大藤 修
昭	34名	史料と歴史研究B 東京大学経済学部教授	石井 寛治	近世史料論Ⅲ(村方) 同 史料の整理管理 I·Ⅱ·V 同	藤村潤一郎 山田 哲好
和 62			玉井 哲雄	史料の整理管理 II・IV 同	安藤正人
年度		東京国立文化財研究所修復技術部室長	増田 勝彦		
第	62.10.19~23	文書館学序論 史料館	安澤 秀一	近世史料論 I (幕藩) 史料館	森 安彦
33	国文学研究	史料と歴史研究A		近世史料論Ⅱ(町方) 同	鶴岡実枝子
	资 料 館	明治大学文学部教授	高島 緑雄	近世史料論Ⅲ(村方) 同	浅井 潤子
💆	46名	史料と歴史研究B		史料の整理管理 I・IV 同	原島 陽一
		奈良産業大学経済学部教授	角山 栄	史料の整理管理Ⅱ 同	大藤 修
		民俗 東京工業大学工学部教授	平井 聖	史料の整理管理Ⅲ・Ⅳ 同	安藤 正人
		保存科学 東京国立文化財研究所名誉研究員	江本 義理		
		史料の補修 宇佐美国宝修理所長	宇佐美直八		

2 文書館学研修会(昭和62年に試行的に実施)

年度	時期・場所 ・受講者数			
昭和62年度	· 安神名数 62.11.30~ 12.4 国文学研究 资料館 26名	文書館学方法論 -記録のライフサイクルと廃棄・収集・評価の問題点- 史料館 安澤 秀一 文書館制度 -官庁文書・民間史料の保存体制と関連法規- 東京大学社会科学研究所教授 大石嘉一郎 企業史料の保存と利用 企業史料協議会理事 中村 頼道 経営管理の基礎理論 -橋大学産業経営研究施設教授 野中郁次郎 検索手段作成の理論と実務	放送映像記録の保存と利用 常磐大学人間科学部教授 後藤 和彦 統計資料の蓄積と加工 一橋大学経済研究所教授 松田 芳郎 保存科学 一諸記録媒体の劣化と保存措置ー	
		-文俳館学的アブローチー 史料館 安藤 正人		

3 史料管理学研修会

年度	時 期・場 所 ・受講者数	湖	群義 題 目	及び講師
	〔長期研修課程〕	文書館論 史料館教授 多	安澤 秀一	現代行政文書の評価と移管
	63.9.5~16	史料管理学序論 同	上	北海道立文書館普及閲覧係長 鈴江 英一
	63.10.17~28	地域社会と文書館 藤沢市文書館長 る	高野 修	近現代行政史料の整理と検索手段の作成 I・II
	国文学研究	史料保存環境論		埼玉県立文書館司書 原 由美子
	資 料 館	群馬県立文書館古文書課長 E	田中 康雄	近現代行政史料の整理と検索手段の作成 II
	31名	情報学入門 慶応義塾大学文学部教授 品	島山 正也	東京都公文沓館主事 水野 保
		情報関連法制の基礎知識		保存科学 I 東京芸術大学美術学部助手 稲葉 政満
		東京大学社会科学研究所教授	井出 嘉憲	保存科学Ⅱ
		組織管理の基礎理論		東京国立文化財研究所修復技術部室長 增田 勝彦
		明治大学経営学部教授	工崎 晃幸	史料の補修 宇佐美国宝修理所長 宇佐美直八
		古代中世史料論		民俗資料の整理と管理
昭		東京大学史料編纂所教授	黒田日出男	神奈川大学日本常民文化研究所長 山口 徹
和		近現代史料論 I (省庁史料)		近世史料論 I (幕藩) 史料館助手 笠谷和比古
7н 63		中央大学文学部教授	三上 昭美	近世史料論Ⅱ(町方) 同 助教授 鶴岡実枝子
年		近現代史料論Ⅱ(府県庁史料)		近世史料論Ⅲ(村方) 同 助教授 浅井 潤子
度		京都府立総合資料館歷史資料課長	中谷 弸	生活史料論 同 教授 森 安彦
, x		情報サービス機関論		史料所在調査法 同 助教授 大藤 修
第		学術情報センター研究開発部教授	井上 如	近世史料の整理と検索手段の作成
34		視聴覚記録の保存と利用		同助教授 大藤 修、同助手 安藤 正人
回		常磐大学人間科学部教授	後藤 和彦	機関外史料の受入 同 教授 原島 陽一
$\overline{}$		情報機器の応用 I 日本写真専門学校長 往	後藤 公明	史料の装備と配架 同上
		情報機器の応用Ⅱ		史料の利用と情報サービス
		京都大学大型電子計算機センター教授	星野 聴	同 事務官 山田 哲好
		記錄管理論		
		千代田化学工業建設株式会社審議役 イ	作山 宗久	
	〔短期研修課程〕	史料管理学序論 史料館教授 多	安澤 秀一	近世史料論 I (幕藩) 史料館助手 笠谷和比古
	63.11.7~11	史料保存環境論 山口県文啓館専門研究員 は	化川 健	近世史料論Ⅱ(村方・町方)
	大 阪 府	保存科学 東京芸術大学美術学部助手 呑	稲葉 政満	同 教授 森 安彦
	公文苷館	近代史料論 東海大学文学部助教授 村	公尾 正人	近世史料の収集・整理と検索手段の作成
	30名	史料の補修 宮内庁俳陵部修補師長 こ	古関 豊	同 助手 安藤 正人
		近現代行政史料の移管・整理と検索手段	の作成	史料の装備と配架 同 教授 原島 陽一
		栃木県立文沓館指導主事 イ	仲田 凱男	史料の利用と情報サービス
		史料所在調査法 史料館助教授 🧦	大藤 修	同事務官 山田 哲好
平成	〔長期研修課程〕	1. 総論		史料の修復・補修 宮内庁舎陵部修補師長 古関 豊
平成元年度	元.7.10~ 8.4	文書館総論 史料館教授 領	安澤 秀一	3. 史料論

年度	時期・場所 ・受講者数	講 	目及び諦師
	元. 9 . 4 ~29	地域社会と文書館 藤沢市文書館長 高野	修: 古代中世史料論
	国文学研究	情報関連法制	東京大学史料編纂所教授 黒田日出男
	资 料 館	東京大学社会科学研究所教授 井出 嘉	瘀 近世史料論 I (幕藩) 東洋大学教授 大野 瑞男
	25名	行政組織論 同 上	近世史料論Ⅱ(町方)史料館助教授 鶴岡実枝子
		情報学および情報サービス機関論	近世史料論田(村方) 同 助教授 浅井 潤子
		慶応義塾大学文学部教授 高山 正	也 生活史料論 同教授森 安彦
		2. 史料管理論	近現代史料論 I 国立公文咨館公文咨課長 小林 一夫
		史料管理学序論 史料館教授 安澤 秀	一 近現代史料論 Ⅱ
		記錄管理論	国立国会团沓鲌専門资料部政治史料課長 嶋田 邦彦
		千代田化学工業建設株式会社審議役 作山 宗	久 4. 史料管理の実際
		史料所在調査法 史料館助教授 大藤	修 NHK資料部における資料管理
		史料の収集と受入 同 教授 原島 陽	一 NHK资料部副部長 前田 滋
平		現代行政文書の評価と移管	外交史料館における史料管理
成成		北海道立文哲館普及閲覧係長 鈴江 英	一 外務省外交史料館専門官 吉村 道男
元		東京都公文掛館主事 水口 政	次 税務大学校租税资料室における史料管理
年		近世史料の整理と検索手段の作成	税務大学校租税资料室研究調查員 多仁 照廣
度		史料館助教授 大藤 修、同助手 安藤 正	人 5. 関連講義
~		近現代史料の整理と検索手段の作成	マイクロ写真の利用
第		埼玉県立文掛館行政文掛課長 佐原 和	久 大阪ビジュアルコミュニケーション専門学校長 後藤 公明
35		東京都公文蛰館主事 水野	保 視聴覚記録の保存と利用
回		埼玉県立川越図啓館司書 原 由美	子 常磐大学人間科学部教授 後藤 和彦
~		史料の装備と配架 史料館教授 原島 陽	一 映像資料の作成と保存
		史料の利用と情報サービス同助手 山田 哲	好 日本映像記録センター代表取締役 牛山 純一
		史料保存環境論	コンピュータの利用
		群馬県立文晳館古文晳課長 田中 康	雄 京都大学大型計算機センター教授 星野 聴
		史料の保存科学	
		東京国立文化財研究所修復保存部室長 增田 勝	
		東京芸術大学美術学部助手 稲葉 政	満
		東京修復保存センター五日市アトリエ代表 坂本	勇
	〔短期研修課程〕	1. 史料管理論	史料の保存科学 東京芸術大学美術学部助手 稲葉 政満
	元.11.6~17	史料管理学序論 史料館教授 安澤 秀	一 史料の修復・補修 字佐美国宝修理所長 宇佐美直八
	福岡ガーデン	史料所在調査法 同 助教授 大藤	修 2. 史料論
	パレス	近世史料の整理と検索手段の作成	近世史料論 I (幕藩史料)
	22名	同 助 手 安藤 正	人 国際日本文化研究センター助教授 笠谷和比古
		近現代行政史料の整理と検索手段の作成	近世史科論 II (村方·町方史科) 史科館助手 渡邊 尚志
		栃木県立文書館指導主事 仲田 凱	男 近現代史料論
		史料の装備と配架 史料館教授 原島 陽	一 京都府立総合資料館歷史資料課長 中谷 弸

年度	時 期・場 所・受 講者 数	TO DE	弄 	1及び講師	
平		史料の利用と情報サービス		3. 史料管理の実際	
成一		史料館助手	山田 哲好		
元年		史料保存環境論		九州大学石炭研究資料センターにおける史	料管理
度		山口県文督館専門研究員	北川 健	九州大学石炭研究資料センター助教授	東定 宣昌
	〔長期研修課程〕	1. 総論		史料の装備と配架 前史料館教授 5	原島 陽一
	2.7.9~	文晳館総論 史料館教授	森 安彦	史料の利用と情報サービス	
	8.3	史料管理学序論 史料館助教授	安藤 正人	史料館助手 [山田 哲好
	2.9.3~28	地域社会と文書館 藤沢市文書館長	島野 修	史料保存環境論 茨城県立歴史館主任研究員 高	萬橋 実
	国文学研究	情報関連法制		史料の保存科学	
	资料館	東京大学社会科学研究所教授	井出 嘉憲	東京国立文化財研究所修復保存部室長	曾田 勝彦
	24名	情報提供サービス機関としての図書館は	と文書館	東京芸術大学美術学部助手	稲葉 政満
		慶応義塾大学文学部教授	岛山 正也	東京修復保存センター五日市アトリエ代表 ち	坂本 勇
		組織体と記録 明海大学経済学部教授	安澤 秀一	史料の修復・補修	
		2. 史料論		宮内庁	古関 豊
平		史料論総論 史料館助教授	大藤 修	同 修補師長補 鳰	集村 文男
成		古代中世史料論 4. 史料管理の実際		4. 史料管理の実際	
2		東京大学史料編纂所助教授 千々和 到 NHKデータ情報部における		NHKデータ情報部における資料管	理
年		近世史料論 I (幕藩) 東洋大学教授	大野 瑞男	NHK放送総局データ情報部副部長 育	前田 滋
度		近世史料論Ⅱ(町方)史料館教授 1	鶴岡実枝子	国立公文書館における史料管理	
第		近世史料論Ⅲ(村方) 同	森 安彦	国立公文哲館公文哲課長	小林 一夫
36		近現代史料論 I (行政史料)		藤沢市文書館における史料管理	
] SO @		京都府立総合资料館歴史资料課長	中谷 弸	藤沢市文書館長 高野 修、同主任 7	万井 修
🗒		近現代史料論Ⅱ(民間史料)		埼玉県立文書館における史料管理	
		専修大学経済学部教授 対	加藤幸三郎	埼玉県立文書館行政文書課長 仏	左原 和久
		3. 史料・記録管理論		同 行政文掛課主査 日	白田 勝美
		記録管理論		同 古文掛課主事 太	太田 富康
		千代田化学工業建設株式会社審議役	作山 宗久	5. 関連講義	
		史料所在調査法 史料館助手 泊	度邊 尚志	裁判記録の保存と利用 弁護士 ヤ	ケ澤 哲夫
		史料の収集と受入 史料館教授 活	戋井 潤子	視聴覚記録の保存と利用	
		現代行政文俳の評価と移管		常磐大学人間科学部教授	炎藤 和彦
		北海道立文書館普及閲覧係長	鈴江 英一	コンピュータの利用	
]		近世史料の整理と検索手段の作成		史料館助手 山	山田 哲好
		史料館助教授 大廈	嬢 修、	文化財保存施設の防災対策	
		同助教授 安藤 正人、同助手 沒	度邊 尚志	都市防災研究所研究部長 小	小川雄二郎
		近現代史料の整理と検索手段の作品	戉		
		東京都公文告館主事 水野 保、同	水口 政次		
I I				:	

年度	時 期・場 所 ・受講者数		游袭	題目	及び講師		
	〔短期研修課程〕	1. 総論			近現代行政史料の整理と検索手段	との作成	;
	2.11.5~16	史料管理学序論 史料館助教授	安藤	正人	栃木県立文沓館副主幹	仲田	凱男
平	岡山県青年館	地域社会と文書館			史料の装備と配架 史料館教授	鶴岡実	枝子
成	24名	群馬県立文書館古文書課長	田中	康雄	史料の利用と情報サービス		
2		2. 史料論			史料館助手	山田	哲好
年		近世史料論 I (総論、幕藩史料)			史料の保存科学		
度		史料館教授	森	安彦	東京芸術大学美術部助手	稲葉	政満
第		近世史料論Ⅱ(村方・町方史料)			史料の修復・補修 宇佐美国宝修理所長	宇佐美	直八
36		史料館教授	浅井	潤子	同 所具	田中	保
		近現代史料論中央大学文学部助教授	松尾	正人	同 所員	宇佐美	直秀
		3. 史料管理論			4. 史料管理の実際		
		史料所在調査法 史料館助手	渡邊	尚志	岡山大学附属図書館における史料	計管理	
		近世史料の整理と検索手段の作品	芃		岡山大学附属図掛館司掛	中野美	智子
		史料館助教授	大藤	修			
	〔長期研修課程〕	1. 総論	_		史料の利用と情報サービス		
	3.7.8~	文掛館総論 史料館教授	森	安彦	史料館助手	山田	哲好
	8.3	史料管理学序論 史料館助教授	安藤	正人	史料保存環境論		
	3.9.2~28	地域社会と文書館 藤沢市文書館長	高野	修	茨城県立歴史館主任研究員	高橋	実
	国文学研究	情報関連法制			史料の保存科学		
	資 料 館	東京大学社会科学研究所教授	井出	嘉憲	東京国立文化財研究所修復保存部室長	増田	勝彦
	23名	情報提供サービス機関としての図書館	官と文書	館	東京芸術大学美術学部助手	稲葉	政満
平		北海道大学庶務部研究協力課長	永田	治樹	東京修復保存センター五日市アトリエ代表	坂本	勇
成		組織体と記録 明海大学経済学部教授	安澤	秀一	史料の修復・補修字佐美国宝修理所長	宇佐美	直八
3		2. 史料論			同 所員	宇佐美	直秀
年		史料論総論 史料館助教授	大藤	修	同 所具	田中	保
度		古代中世史料論			裁判記録の保存と利用 弁護士	竹澤	哲夫
第		東京大学史料編纂所助教授	千々和	0 到	視聴覚記録の保存と利用		
37		近世史料論総論 史料館助教授	大藤	修	常磐大学人間科学部教授	後藤	和彦
。 回		近世史料論 I (幕藩) 史料館助手	大友	一雄	コンピュータの利用		
		近世史料論Ⅱ(町方)史料館教授	鶴岡第	E枝子	神戸商科大学商経学部助教授	周防	節雄
		近世史料論 🛮 (村方) 史料館助手	渡邊	尚志	史料館助手	田山	哲好
		近現代史料論 I (行政史料)			文化財保存施設の防災対策		
		群馬県立文沓館主事	小暮	隆志	都市防災研究所研究部長	小川雄	二郎
		近現代史料論Ⅱ(民間史料)			マイクロ写真の利用		
	·	史料館助教授	丑木	幸男	大阪ビジュアル・コミュニケーション専門学校長	後藤	公明

年度	時期・場所 ・受講者数	游義題目	1及び講師
		3. 記録・史料管理論	4. 史料管理の実際
		記録管理論	国立国会図沓館における史料管理
		千代田化学工業建設株式会社審議役 作山 宗久	国立国会図書館政治史料課長 枝松 栄
		史料管理プログラムの設計	国立公文掛館における史料管理
		史料館助教授 安藤 正人	国立公文哲館公文哲課長 山岸 順
		史料所在調査法 史料館助手 渡邊 尚志	藤沢市文掛館における史料管理
		史料の収集と受入	藤沢市文掛館長 高野 修
		栃木県立文掛館副主幹 仲田 凱男	埼玉県立文沓館における史料管理
平		現代行政文俳の評価と移管	埼玉県立文ช館行政文ช課主査 白田 勝美
成		山口県文掛館専門研究員 戸島 昭	同 古文掛課主事 太田 富康
3		近世史料の整理と検索手段の作成	法政大学大原社会問題研究所における史料管理
年		史料館助教授 大藤 修、	法政大学大原社会問題研究所長 二村 一夫
度		同助教授 安藤 正人、同助手 渡邊 尚志	
^		近現代史料の整理と検索手段の作成	
第		東京都公文書館主事 水野 保、同 水口 政次	
37		史料の装備と配架文化女子大学教授 原島 陽一	
	〔短期研修課程〕	1. 総論	近現代史料の整理と検索手段の作成
	3.11.11~22	文掛館総論 史料館教授 森 安彦	北海道立文書館資料課長 佐藤 京子
	KKR 札 幌	地域社会と文俳館	史料の装備と配架 史料館助教授 安藤 正人
	15名	北海道立文掛館首席文掛專門員 大庭 幸生	史料の利用と情報サービス
		2. 史料論	史料館助手 山田 哲好
		近世史料論 I (総論、幕藩史料)	史料の保存科学
		史料館助手 大友 一雄	東京芸術大学美術学部助手 稲葉 政満
		近世史料論 II (村方·町方史料)	史料の修復・補修
		史料館助教授 丑木 幸男	宮内庁旮陵部修補師長 古関 豊
		近現代史料論	同 修補師長補 吉野 敏武
		北海道立文書館私文書係長 鈴江 英一	4. 史料管理の実際
		3. 史料管理論	北海道立文沓館における史料管理
		史料所在調査法 史料館助手 渡邊 尚志	北海道立文掛館普及閲覧係長 山田 博司
		近世史料の整理と検索手段の作成	
		史料館助教授 大藤 修	

資料7 共同研究等

(共同研究 目)

(共同研究員)

7-1 共同研究

(五十音順 昭和56年度までは「十年の歩み」参照)

(給財券加米)

(館内参加者)

1 「久松本」の解題研究(昭和54~56年度、昭和59~60年度)

(フマロリカリフひを	₹ /		(昭门参加名	3 /		
稲 田 利	徳(岡山大学教育学部助教授)	(60)	阿 部 好	臣(55)		
井 上 宗	雄(立教大学文学部教授)	(54)	大久保	正(54~55)		
久保田	淳(東京大学文学部教授)	(55~56)	島原泰	雄(59)		
嶋中道	則(東京学芸大学助教授・当館併任助教授)	(59)	新 藤 協	三(56)		
鈴 木	淳(国学院大学日本文化研究所講師)	(59)	福 田 秀	_		
三 輪 正	胤(大阪府立大学総合科学部助教授)	(54~56)	(54~	-56、59~60)		
2 「 逸翁美術館蔵国文学資料 」の解題研究(昭和57~59年度)						
(共同研究員	1)		(館内参加者	*)		
伊 井 春	樹(大阪大学文学部助教授)	(57~59)	新藤協	三 (57~59)		

今 西 實(天理大学文学部教授) (57~58)

清 登 典 子(鶴見大学女子短期大学部非常勤講師) (57~59)

高 田 信 敬(鶴見大学文学部講師) (57~59)

3 「連歌資料のコンピュータ処理」の研究(昭和57~59年度)

岩	下	紀	之(愛知淑徳大学文学部助教授)	(58~59)	田	嶋	_	夫 (57)
奥	H		勲 (宇都宮大学教育学部教授)	(57~59)	棚	町	知	弥(58~59)
岸	田	依	子(吉祥女子高等学校非常勤講師)	(57)	長名	川名		強(58~59)
沢	井	耐	三 (愛知大学教養部教授)	(57~59)				
島	津	忠	夫 (大阪大学教養部教授)	(57~59)				
田	中	隆	裕(二松学舎大学大学院博士課程)	(59)				
鶴	崎	裕	雄(帝塚山学院大学短期大学教授)	(57~59)				

宮 脇 真 彦(成城大学大学院博士課程) (59) 渡 辺 憲 司(梅光女学院大学短期大学部助教授) (57~59)

綿 抜 豊 昭(中央大学大学院博士課程) (59)

和 田 道 子(愛知教育大学非常勤講師) (59)

4 日本文学の特質「日本文学における〈向こう側〉 | の研究(昭和58年度) (共同研究員) (館内参加者) 小 山 弘 志 キンヤ・ツルタ(ブリティッシュ・コロンビア大学教授) 福田秀一 奥 出 健(横浜女子短期大学識師) 徳 江 元 正(国学院大学文学部教授) 百川敬仁 芳 賀 微(東京大学教養学部教授) 山中光一 平 川 祐 弘(東京大学教養学部教授) 5 日本文学の特質「江戸時代におけるユーモア | の研究(昭和59年度) (共同研究員) (館内参加者) ハワード・スコット・ヒベット(ハーバード大学教授) 岡 雅彦 井 上 敏 幸(福岡女子大学文学部教授) 長谷川 強 粕 谷 宏 紀(日本大学文理学部教授) 本 田 康 雄 松岡心平 鳥 越 文 藏(早稲田大学文学部教授) 羽 鳥 一 英(成蹊大学文学部教授) 百川敬仁 冨 士 昭 雄(駒澤大学文学部教授) 母 利 司 朗 6 三十六人集諸本の研究(昭和60~61年度) [公募] (○印は研究代表者を示す。以下、同様。) (共同研究員) (館内参加者) 加 藤 幸 一(筑波大学大学院博士課程) $(60\sim61)$ 新藤協三 田 辺 俊一郎(大東文化大学大学院博士課程) (61) 〇平 田 喜 信(横浜国立大学教育学部教授) $(60 \sim 61)$ 藤 田 洋 治(鶴岡工業高等専門学校講師) $(60\sim61)$ 7 鎌倉時代物語の研究(昭和60年度) [公募] (共同研究員) (館内参加者) 阿 部 好 臣(日本大学文理学部講師) 小 峯 和 明 神野藤 昭 夫(跡見学園女子大学文学部教授) 吉 海 直 人 島 田 早 苗(群馬県立前橋南高等学校教諭) 〇平 林 文 雄(群馬県立女子大学文学部教授) 三 角 洋 一(東京大学教養学部助教授) 8 江戸狂歌本の書誌的研究(昭和60~61年度) [公募] (館内参加者) (共同研究員) 石 川 俊一郎(慶應義塾大学大学院博士課程) 岡 雅彦

石	Щ		了(大妻女子大学短期大学部助教授)		小	野	尚	志
○宇	田	敏	彦(戸板女子短期大学教授)(昭和61年7月	以降、研究	代表者)	ı		
粕	谷	宏	紀(日本大学文理学部教授)					
〇浜	Ħ	義-	-郎(大妻女子大学名誉教授)(昭和61年 6 月	逝去)				
延	廣	真	治(東京大学教養学部助教授)					
9 [日吉	山王	利生記 」 に関する研究(昭和60年度)〔公募)				
(=	共同研	F究 身	1)		(食	官内氢	多加る	聋)
竹	村	信	治(金沢美術工芸大学美術工芸学部講師)		小	峯	和	明
播	塺	光	寿(文化女子大学室蘭短期大学助教授)		OH	嶋		夫
前	田	雅	之(早稲田大学大学院博士課程)					
吉	原	浩	人(早稲田大学高等学院教諭)					
10 I	さ本目	て学の	9特質「落窪物語の研究」(昭和60年度)					
(=	共同 研	F究 身	()		(食	官内多	多加え	香)
フリ	リッツ	1 . 7	1ォス(ライデン大学名誉教授)		小	峯	和	明
高	橋		亨(名古屋大学教養部助教授)		○福	田	秀	
松	本	隆	信(慶應義塾大学附属斯道文庫長)		百	Ш	敬	仁
Ξ	角	洋	一(東京大学教養学部助教授)		吉	海	直	人
	L. III. ST	L A 4						
)研究(昭和61~62年度)〔公募〕 • ^		<i>(</i> &	4 .	c.to.d	bz. \
	共同研			(61 60)		_	多加え	5),
〇井		宗	雄(立教大学文学部教授)	(61~62)	福	田	秀	
今	井	-	明(聖光学院中高等学校教諭)	(61~62)				
兼	築		行(早稲田大学高等学院教諭)	(61~62)				
紙		宏	行(文教大学女子短期大学部講師)	(61~62)				
流	石	1	文(桐朋女子高等学校非常勤講師)	(62)				
佐	藤	-	雄(香川大学教育学部教授)	(61~62)				
中	<u>Ш</u>		夫(慶應義塾大学大学院博士課程)	(62)				
. <u></u>	田	洋	嗣(福岡大学人文学部講師)	(61~62)				
湯	浅	思	夫(学習院大学大学院博士課程)	(61~62)				
12 2	本朝文	て粋に	こおける願文の研究(昭和61年度)〔公募〕					
	· 共同研				(食	的人	多加名	香)
佐	藤	道	生(慶應義塾大学大学院博士課程)		小	峯	和	明

• • •			A COULT A SAL HESSIANIX A						
山	崎		誠(広島女子大学文学部助教授)						
○渡	邊	秀	夫(信州大学人文学部助教授)						
13 %	L戸E		堂上和歌聞書の研究(昭和61~62年度)〔公募)					
(‡	共同 研	F 究員	()		(負	官内拿	∮加き	首)	
市	古	夏	生(白百合女子大学文学部助教授)	(61~62)	島	原	泰	雄(61))
揖	斐		高(成蹊大学文学部教授)	(61~62)	竹	下	義	人 (62))
○嶋	中	道	則(東京学芸大学教育学部助教授)	(61~62)	宮	﨑	修	多(62))
島	原	泰	雄(皇学館大学文学部助教授)	(62)					
清	水	素	子	(61~62)					
鈴	木	健	一(東京大学大学院博士課程)	(61~62)					
鈴	木		淳(国学院大学日本文化研究所助教授)	(61~62)					
林		達	也(駒澤大学文学部教授)	(61~62)					
坂	内	泰	子(東京大学大学院博士課程)	(61~62)					
古	相	正	美(国学院大学日本文化研究所嘱託研究員)	(61~62)					
和	田	道	子(愛知県立大学外国語学部非常勤講師)	(61~62)					
14 E	文本日	ζ学 σ)特質「日本文学における作品終結の論理 」(昭和61年度)					
(‡	も同研	F究 員	()		(食	官内参	かれる	á)	
04=	ı ⊦ •	ウュ	-ダ(スタンフォード大学教授)		小	山	弘	志	
佐	伯	彰	一(中央大学文学部教授)		百	Ш	敬	仁	
髙	橋		亨(名古屋大学教養部助教授)		山	中	光	_	
Ξ	好	行	雄(大妻女子大学文学部教授)						
15 ম	P 安前	前期物	7語の研究(昭和62年度)〔公募〕						
(‡	も同句	F究 員	()		(食	官内參	かれる	首)	
植	田	恭	代(日本女子大学大学院博士課程)		〇吉	海	直	人	
菊	地		仁(山形大学人文学部助教授)						
高	楯		亨(名古屋大学教養部助教授)						
藤	井	貞	和(東京学芸大学教育学部助教授)						
			-方文壇の研究(昭和62年度)〔公募〕						
(‡	も同句					的			
清	登	典	子(放送大学埼玉学習センター助教授)		宮	﨑	修	多	

森 正 人(熊本大学文学部助教授)

〇櫻 井 武次郎 (親和女子大学文学部教授) 塩 崎 俊 彦(神戸山手女子短期大学識師) 藤 田 眞 一(京都府立大学女子短期大学部助教授) 111 利 司 朗(岐阜大学教育学部助教授) Ħ 蘭(四国女子大学文学部教授) 森 17 歌舞伎番付総合目録の標準化と編纂のための基礎的研究(昭和62年度)[公募] (共同研究員) (館内参加者) 赤 間 亮(早稲田大学大学院博士課程) 武 井 協 三 土 田 衛(大阪女子大学学芸学部教授) 棚町知弥 〇鳥·越 文 藏(早稲田大学文学部教授) 堀 浩 一 林 公 子(大阪大学大学院博士課程) 原 道 生(明治大学文学部教授) 古井戸 秀 夫(早稲田大学文学部助教授) 18 日本文学の特質「七十一番職人歌合の研究 | (昭和62年度) (共同研究員) (館内参加者) ローラント・シュナイダー(ハンブルグ大学教授) 小山弘志 網 野 善 彦(神奈川大学短期大学部教授) 棚町知弥 岩 崎 佳 枝(梅花短期大学非常勤講師) ○福 田 秀 一 大 島 建 彦(東洋大学文学部教授) 島 津 忠 夫(大阪大学教養部教授) 徳 田 和 夫(学習院女子短期大学助教授) 19 百人一首古注釈の研究(昭和63年度)[公募] (共同研究員) (館内参加者) ○菊 地 仁(山形大学人文学部助教授) 吉 海 直 人

小林健二(大谷女子大学文学部講師)

岛 原 泰 雄(皇学館大学文学部助教授)

豊 島 秀 範(弘前学院大学文学部助教授)

錦 仁(秋田大学教育学部助教授)

20 近世九州の文人研究(昭和63年度) [公募] (共同研究員) (館内参加者) 井 上 敏 幸(福岡女子大学文学部教授) 宮 崎 修 多 〇中 山 右 尚(鹿児島大学教育学部教授) 若 木 太 一(長崎大学教養部教授) 21 願文の総合的研究(昭和63年度) [公募] (共同研究員) (館内参加者) 佐 藤 道 生(宇都宮大学教育学部非常勤講師) 小 峯 和 明 平 雅 行(関西大学文学部助教授) 山崎 誠 山 本 真 吾(広島大学文学部助手) ○渡 邊 秀 夫(信州大学人文学部助教授) 22 日本文学の特質「中世における能とその環境」(昭和63年度) (共同研究員) (館内参加者) ○カレン・ブラゼル (コーネル大学教授) 樹下文隆 ジャネット・ゴフ(元ミネソタ・カールトン大学助教授) 小 峯 和 明 田 代 慶一郎(筑波大学文芸・言語学系教授) 小 山 弘 志 福 田 秀 一(国際基督教大学教養学部教授) 武井協三 松 岡 心 平(東京大学文学部講師) 23 近世儒林伝の研究(平成元年度) [公募] (共同研究員) (館内参加者) 飯 倉 洋 一(山口大学教養部講師) 宮 崎 修 多 ○板 坂 耀 子(福岡教育大学教育学部教授) 久保田 啓 一(梅光女学院大学文学部講師) ロバート・キャンベル(九州大学文学部講師) 24 関東天台に関する調査と研究(平成元年度)[公募] (共同研究員) (館内参加者) 阿 部 泰 郎(大阪大学文学部助手) 山崎 誠 落 合 博 志(東京大学大学院博士課程) 樹下文隆 田 中 貴 子(池坊短期大学講師) ○廣 田 哲 通(大阪女子大学学芸学部助教授) 牧 野 和 夫(実践女子大学文学部助教授)

25 近世出版史の研究(平成元年度)[公募]

(館内参加者)

〇朝 倉 治 彦(四日市大学経済学部教授)

本 田 康 雄

今 田 洋 三(近畿大学教養部教授)

鈴 木 俊 幸(国士舘短期大学講師)

中 山 尚 夫(東洋大学文学部助手)

26 松宇文庫の調査研究(平成元年度)[公募]

(共同研究員)

(共同研究員)

(館内参加者)

東 聖 子(十文字学園女子短期大学講師) 竹下義人

池 田 俊 朗(京北高等学校教諭)

市 古 夏 生(白百合女子大学文学部助教授)

宇 城 由 文(京都外国語大学外国語学部講師)

大 石 房 子(お茶の水女子大学大学院博士課程)

加 藤 定 彦(立教大学一般教育部助教授)

清 登 典 子(放送大学埼玉学習センター助教授)

○雲 英 末 雄(早稲田大学文学部教授)

樱 井 武次郎 (親和女子大学文学部教授)

塩 崎 俊 彦(神戸山手女子短期大学講師)

本 昌 一(法政大学第二高等学校教諭) 島

H 中 善 信(武蔵野女子大学文学部教授)

谷 地 快 一(東洋大学短期大学部助教授)

永 井 一 彰(奈良大学文学部助教授)

中 野 沙 惠(東京女子医科大学医学部講師)

萩 原 恭 男(大東文化大学文学部教授)

與 一(京都府立大学女子短期大学部助教授) H

森川 昭(東京大学文学部教授)

母 利 司 朗(岐阜大学教育学部助教授)

矢 羽 勝 幸(上田女子短期大学教授)

渡 逄 志津子(大阪大学医療技術短期大学部講師)

27 近世演劇研究情報データベース編纂の研究(平成元年度)[公募]

(館内参加者)

亮(早稲田大学演劇博物館助手) 赤 間

(共同研究員)

北 村 啓 子

武井協三 池 山 晃(東京大学大学院博士課程)

胂 倉 秀 典(関東短期大学講師) 棚 町 知 弥(園田学園女子大学文学部教授) 土 田 衞(大阪女子大学名誉教授) ○鳥 越 文 藏(早稲田大学文学部教授) 林 公 子(大阪大学文学部助手) 原 道 生(明治大学文学部教授) 堀 浩 一(東京大学先端科学技術研究センター助教授) 松平 進(甲南女子大学文学部教授) 和 田 修(早稲田大学大学院博士課程) 28 日本文学の特質「お伽草子の研究 | (平成元年度) (共同研究員) (館内参加者) ○ジャクリーヌ・ピジョー(パリ第7大学教授) 新井栄蔵 浅 見 和 彦(成蹊大学文学部教授) 樹下文降 神野藤 昭 夫(跡見学園女子大学文学部教授) 小 峯 和 明 佐 竹 昭 廣(成城大学文芸学部教授) 小 山 弘 志 外 村 南都子(白百合女子大学文学部教授) 松野陽一 松 本 隆 信(慶應義塾大学名誉教授) 29 南北朝期古今集注釈書の研究(平成2年度)[公募] (共同研究員) (館内参加者) 久保木 辞 子(白梅学園短期大学講師) 新井栄蔵 清 水 素 子(早稲田大学大学院文学研究科研究生) 末 澤 明 子(福岡女学院短期大学助教授) 〇武 井 和 人(埼玉大学教養部助教授) 深津 陸 夫(皇学館大学講師) 吉 川 栄 治(早稲田大学非常勤講師) 和 田 道 子(中京大学教養部助教授) 30 松宇文庫の調査研究(平成2年度) [公募] (共同研究員) (館内参加者) 加 藤 定 彦(立教大学一般教育部教授) 竹下義人 ○雲 英 末 雄(早稲田大学文学部教授) 樱 井 武次郎(親和女子大学文学部教授)

塩 崎 俊 彦(神戸山手女子短期大学講師)

田 中 善 信(武蔵野女子大学文学部教授) 中 野 沙 惠(東京女子医科大学医学部識師) 藤 田 眞 一(京都府立大学女子短期大学部助教授) 森 川 昭(東京大学文学部教授) 母 利 司 朗(岐阜大学教育学部助教授) 矢 羽 勝 幸(上田女子短期大学教授) 31 江戸初期以前の演能記録の総合的研究(平成2年度) [公募] (共同研究員) (館内参加者) 〇表 章(法政大学文学部教授) 樹下文隆 表 きよし(国士舘短期大学講師) 小 山 弘 志 竹 本 幹 夫(早稲田大学文学部助教授) 棚 町 知 弥 (園田学園女子大学文学部教授・同大学近松研究所長) 橋 本 朝 生(山梨大学教育学部教授) 三 宅 晶 子(目白学園女子短期大学講師) 32 法会と唱導文学に関する学際的研究(平成2年度)[公募] (共同研究員) (館内参加者) ○佐 藤 道 子(東京国立文化財研究所芸能部長) 小 峯 和 明 千 本 英 史(奈良女子大学文学部助教授) 山崎 誠 土 谷 恵(清泉女子大学非常勤講師) 水 尾 寂 芳(叡山学院講師) 33 日本文学の特質「西行の研究」(平成2年度) (共同研究員) (館内参加者)

○ウィリアム・ラフルーア(カリフォルニア大学ロスアンゼルス校教授) 小 峯 和 明 大 隅 和 雄(東京女子大学文理学部教授) 小 山 弘 志 久保田 淳(東京大学文学部教授) 佐伯眞一 坂 部 惠(東京大学文学部教授) 佐々木 孝 浩 高 木 きよ子(元東洋大学文学部教授) 松野陽一 目 崎 徳 衛(秋草学園短期大学副学長) 川崎 誠

山 田 昭 全(大正大学文学部教授)

34 古代後期に於ける幼学書の受容に関する研究(平成3年度)[公募]

(共同研究員)

(館内参加者)

黒 田 彰(愛知県立大学文学部助教授)

山 崎 誠

○後 藤 昭 雄(大阪大学教養部教授)

東 野 治 之(大阪大学教養部助教授)

三 木 雅 博(梅花女子大学文学部助教授)

35 近世藩政資料における歌舞伎・浄瑠璃記録の研究(平成3年度)[公募]

(共同研究員)

(館内参加者)

赤 間 亮(立命館大学文学部講師)

武井協三

岩 井 眞 實(福岡女学院短期大学講師)

〇鳥 越 文 藏(早稲田大学文学部教授)

和 田 修(早稲田大学演劇博物館助手)

36 平安和歌における修辞の研究(平成3年度)[公募]

(共同研究員)

(館内参加者)

阿 部 好 臣(日本大学文理学部助教授)

新藤協三

加 藤 幸 一(奥羽大学文学部講師)

○杉 谷 寿 郎(日本大学文理学部教授)

髙 田 信 敬(鶴見大学文学部助教授)

平 沢 竜 介(白百合女子大学文学部助教授)

藤 田 洋 治(東京成徳短期大学講師)

37 近世初期の禅林と堂上の文学的交流の研究

- 永雄・素然両吟和漢聯句をめぐってー(平成3年度)[公募]

(共同研究員)

(館内参加者)

上 野 英 二 (成城大学文芸学部助教授)

樹下文隆

菊 地 明 範(暁星女子大学講師)

佐々木 孝 浩

鈴 木 健 一(東京大学教養学部助手)

深澤真二

〇花 田 富二夫(大妻女子大学短期大学部助教授)

宮崎修多

38 平安物語と語り物文芸性に関する研究(平成3年度)[公募]

(共同研究員)

(館内参加者)

志 立 正 知(山形県立米沢女子短期大学講師)

佐伯眞一

鈴 木 孝 庸(新潟大学教養部助教授)

千 明 守(横浜国立大学非常勤講師)

松 尾 葦 江(椙山女学園大学人間関係学部教授)

〇村 上 學(名古屋工業大学工学部教授)

横 井 孝(静岡大学教育学部助教授)

39 近世地方出版文化史の研究(平成3年度)[公募]

(共同研究員)

○朝 倉 治 彦(四日市大学経済学部教授)

(館内参加者)
本 田 康 雄

武井協三

川崎

誸

今 田 洋 三(近畿大学教養部教授)

鈴 木 俊 幸(国士舘短期大学講師)

長 友 千代治(京都府立大学文学部教授)

中 山 尚 夫(東洋大学文学部講師)

40 日本文学の特質「明治後期隨筆文学の研究」(平成3年度)

(共同研究員) (館内参加者)

○ジャンージャック・オリガス (フランス国立東洋言語文化研究所教授) 岡 雅 彦

大 岡 信(東京芸術大学音楽学部教授) 小 山 弘 志

紅 野 敏 郎(早稲田大学教育学部教授)

高 橋 英 夫(評論家)

十 川 信 介(学習院大学文学部教授)

中 島 國 彦(早稲田大学文学部教授)

野 山 嘉 正(東京大学文学部教授)

芳 賀 微(国際日本文化研究センター教授)

平 岡 敏 夫(筑波大学文芸・言語学系教授)

41 中世天台仏教の地方伝播とその受容に関する包括的研究

-文学と芸能の基盤を求めて-(平成4年度)[公募]

(共同研究員) (館内参加者)

大久保 良 峻(早稲田大学文学部講師) 〇佐 藤 弘 夫(東北大学文学部助教授)

佐 藤 眞 人(国学院大学非常勤講師)

曾根原 理(東北大学文学部助手)

福 原 敏 男(国立歴史民俗博物館助手)

松 薗 斉(愛知学院大学文学部講師)

松 本 公 一(同志社大学大学院文学研究科研究生)

--- 137 ---

三 橋 正(大正大学総合仏教研究所研究員)

42 雄長老の学芸 -詩・聯句・狂歌・仮名草子- (平成4年度)[公募]

(共同研究員) (館内参加者)

〇大 谷 俊 太(南山大学文学部助教授)

深澤真二

花 田 富二夫(大妻女子大学短期大学部助教授)

堀 川 貴 司(東京大学文学部助手)

宮 崎 修 多(成城大学文芸学部講師)

43 近世諸藩歌集の総合的研究

- 藩別学芸史研究の一環として- (平成4年度)[公募]

(共同研究員) (館内参加者)

市 古 夏 生(お茶の水女子大学大学院人文科学研究科助教授) 松 野 陽 一

今 井 明(福岡女子大学文学部助教授)

木 越 治(金沢大学教養部助教授)

久保田 啓 一(梅光女学院大学文学部講師)

沢 井 耐 三(愛知大学文学部教授)

白 石 良 夫(文部省初等中等教育局教科書課教科書調査官)

鈴 木 健 一(東京大学教養学部助手)

鉄 野 昌 弘(帝塚山学院大学文学部講師)

○渡 辺 憲 司(立教大学文学部教授)

44 近世人物叢伝資料の基礎的研究(平成4年度)[公募]

稲 田 篤 信(東京都立大学人文学部助教授)

(館内参加者)

淳

鈴木

○揖 斐 高(成蹊大学文学部教授)

(共同研究員)

嶋 中 道 則(東京学芸大学教育学部助教授)

島 原 泰 雄(皇学館大学文学部助教授)

竹 下 義 人(日本大学文理学部講師)

玉 城 司(清泉女学院短期大学助教授)

藤 江 峰 夫(フェリス女学院大学文学部助教授)

- 45 日本文学の特質「中世芸術論の研究」(平成4年度)
- ○ミコワイ・メラノビッチ(ワルシャワ大学教授)

(11月より実施するので、他の共同研究員は未定)

7-2 史料館研究会館外講師一覧

(昭和56年度までは「十年の歩み」参照)

年度	年 月 日	氏 名(所属)	研 究 テ ー マ
57	昭和58年3月1日	高澤裕一(金沢大学文学部教授)	善徳寺文書の目録作成について
58	昭和58年12月22日	山 中 永之佑 (大阪大学法学部教授)	近代史料概論
59	昭和60年2月28日	広 田 暢 久 (山口県立文皆館専門研究員)	毛利家文庫の全貌と中国地方の史 料所在状況
60	昭和61年3月20日	鈴 江 英 一 (北海道立文書館普及閲覧係長)	北海道立文書館の設立について
61	昭和62年1月29日	秀 村 選 三 (久留米大学 比較文化研究所教授)	九州地方の史料の存在状況につい て
	昭和62年2月24日	高 橋 啓 (鳴門教育大学教育学部助教授)	近世における賎民制成立の問題 ―阿波国の場合―
62	昭和63年2月25日	小 林 清 治 (福島大学文学部教授)	奥州仕置と秀吉禁制
63	平成元年3月7日	尾 藤 正 英 (川村学園女子大学文学部教授)	最近の近世史の研究動向について
元	平成2年3月13日	石 井 進 (東京大学文学部教授)	偽文書と「正文」との間
2	平成3年2月12日	作 道 洋太郎 (近畿大学商経学部教授)	近世の古紙幣について
	平成3年3月14日	平 川 新 (東北大学教養部助教授)	伝説・縁起・民衆 一白鳥伝説と近世南奥の民衆―

7-3 科学研究費補助金による研究プロジェクト

総合研究(A)

(昭和56年度までは「十年の歩み」参照)

(単位:千円)

研 究 課 題	研究代表者	57年度	58年度	59年度	60年度.	61年度	62年度	63年度	元年度	2 年度	3年度	4 年度
連歌資料の全国的総合調査並びに連 歌作品年表の編纂	小山 弘志				6,100	4,400	2,700					
近世・近代史料所在情報の収集及び その体系化に関する基礎的研究	安澤 秀一				7,500	6,000	4,000					
史料所在情報の蓄積検索システムに 関する研究	安澤 秀一							8,000	6,900			
国文学研究論文に見られる研究語彙 の調査研究	小山 弘志									6,200	3,000	
我国古典籍の俳写系譜(初期刊本の 底本となった古鈔本の調査)に関す る綜合的研究	小山、弘志											9,100

一般研究(A)

研究課題	研究代表者	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2年度	3年度	4年度
江戸時代初期版本挿し絵のコンピュ ータ処理による研究	岡 雅彦						5,000	3,000				
神社所蔵日本文学関係资料の所在に 関する基礎的研究	小山 弘志								4,400	2,600	2,000	1,800
室町以前沓写国文学関係資料奥沓集 成をめざす研究	長谷川 強 (平成3年)	度から松!	野陽一)							9,600	3,800	
史料所在情報の集約とその解析的研 究	森 安彦									10,000	5,000	4,000
大規模・多種・多様の国文学データ 形成方法の改善・拡張についての実 用化のための研究	新井 栄蔵										13,500	3,000
日本古典文学作品フルテキストデー タベースのためのデータ記述文法に 関する実証的研究	安永 尚志										8,300	7,600

一般研究(B)

研 究 課 題	研究代表者	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2年度	3年度	4 年度
国文学資料を中心とした蔵費印の〔絵 引き式索引〕の作成をめざす研究	渡邉 守邦				1,400	500						
寺院所蔵日本文学関係資料の所在に 関する基礎的研究	小山 弘志					2,000	1,000	800	4,400			
稀本客葉貼込帳の収集と国文学資料 としての利用法を開発する研究	渡邉 守邦 (平成元年月	しまません ままま ままま ままま ままま ままま しょう しょう は樹下 こ	 文隆) 				1,900	1,000	500			
国文学異次データベース群間の横断 的利用方式に関する研究	安永 尚志							4,100	900			
表紙模様の記述用語統一と国文学研 究への利用法開発のための基礎的研究	竹下 義人								1,300	1,000		

一般研究(C)

							I	I				
研究課題	研究代表者	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度
江戸時代言語遊戯の調査研究	岡 雅彦	450										
国文学文献を中心とした蔵沓印の研究	渡邉 守邦	800										
入札目録所収国文学関係古華切資料 の基礎的研究	伊井 春樹		700									
中世文学と山王神道関係資料の係わりに関する基礎的研究 - 「山王縁起」を中心に-	田嶋一夫					1,000						
願文・表白など中世唱導資料の基礎 的研究	小峯 和明							1,400	500			
江戸堂上派武家歌壇の「歌文集」に 関する研究	松野 陽一							1,200	500	400		
安居院流を中心とする中世唱導文芸 と仏事法会に関する研究	小峯 和明									1,000		
近世大名家文書における歌舞伎・浄 瑠璃上演記録データベース化の研究	武井 協三										1,200	
近世後期歌魯出版年表の作成	鈴木 淳											700
古典フルテキストデータベース作成 のための古典原本の光学的自動入力 に関する研究	原 正一郎											2,000
史料管理学に関する文献情報の収集 とデータベース作成についての基礎 的研究	山田 哲好											800

試験研究(1)

研究課題	研究代表者	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2年度	3年度	4 年度
国文学情報検索システムの共同利用 に関する研究 一公衆網漢字TSSによる開発ー	小山 弘志	3,500	3,200									
国文学における大量多種データ運用 管理のための知識ペースシステム	小山 弘志				4,000	11,500	6,000					
国文学データベースのCD-ROMによる出版・利用に関する実用化試験研究	小山 弘志							9,000	5,500	4,500		

特定研究(2)

研究認	果 題	研究代表者	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2年度	3 年度	4 年度
日本語処理システムの ーラス(同義漢字辞報		田偽一夫	2,900	2,700									

奨励研究(A)

研究課題	研究代表者	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度
鎌倉・室町時代寺社縁起の基礎的研 究	小林 健二	700										
日本近代化過程の農村問題と報徳選 動	大藤 修			900								
「隔貨記」を中心資料とした近世初 期連 敬塩・俳塩の総合的研究	母利 司朗				700							
マルチメディアによる多字種文字情 報処理の研究	松方 純									900		
江戸幕府個官林家と昌平校における 文芸活動の基礎的研究	宮崎 修多										900	
近世北日本における町方文書の研究 -秋田藩の城下町久保田を中心とし て-	渡辺 浩一										700	
近世の贈答儀礼に関する基礎的研究	大友 一雄											900

海外学術調査

研 究 課 題	研究代表者	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2年度	3年度	4 年度
カリフォルニア 大学 (バークレ) 所蔵国文学文献資料の総合調査-国 際協力による在外国文学文献の総合 的研究	長谷川 強		4,000	2,100								
国立台湾大学研究図書館蔵日本文学 関係資料の調査・撮影 - 在外日本 文学関係資料の総合的研究-	福田 秀一			1,210	4,000	2,000						
在米国文学資料の所在に関する予備 的調査 一国際協力による在外国文 学文献の総合的研究の為に一	長谷川 強						2,800					
在米国文学資料の所在に関する調査 -国際協力による在外国文学文献の 総合的研究の為に-	長谷川 強							4,000	5,500			
在仏国文学資料の所在に関する調査 -国際協力による在外国文学文献の 総合的研究-	長谷川 強 (平成3年)	度から松!	 							4,100	6,000	5,000

研究成果公開促進費 (データベース)

研 究 課 題	研究代表者	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2 年度	3年度	4 年度
国文学論文データベース	山中 光一						3,140			•		
国文学原資料データベース	安永 尚志						3,570	3,570	3,640	3,640		
連歌作品目録データベース	棚町 知弥 (平成元年)		七一、4 5	年度は深	署真二)			2,870	2,930			3,340
日本古典文学本文データベース	安永 尚志							30,000	30,660	33,660	29,410	18,410
芸能記録データベース	小山 弘志										3,720	3,720
古典人名データベース	小山 弘志										8,730	8,730

研究成果公開促進費(研究成果公開発表)

研 究 課 題	研究代表者	57年度 58	3年度 59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2年度	3年度	4 年度
知識情報の世界を拓く	安永 尚志					150					

7-4 特定研究経費による研究プロジェクト

(単位:千円)

研究 課題	研究代表者	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2 年度	3 年度	4年度
原文献資料流通システムの研究	安永 尚志						4,358	4,358	4,651	4,541	4,441	4,882
国文学総合コントロールファイル作成のための古典作品の諸本についての書誌学的研究	本田 康雄								9,254	10,254	10,354	11,732
古典籍学の確立・体系化のための研 究	長谷川 強 (平成3年)	 変から松野	野陽一)							9,072	9,768	11,375
所蔵史料の修復・復元方法に関する 基礎的研究	森 安彦										8,819	9,690

[※] 昭和63年度までは臨時事業費

資料8 研究者の受入れ・派遣・大学院教育協力

8-1 内地研究員・私学研修員・公立大学研修員の受入れ

(昭和56年度までは「十年の歩み」参照)

4		5 (マ 日)		### ##		T
年度	氏	名(所属)	研究課題	期間	指導教官	区分
57	石井由紀夫	(北海道教育大学 教育学部講師)	軍記物語史の研究	57. 9. 1 ~58. 2.28	村上 學	内
	麻原 美子	(日本女子大学文 学部教授)	室町時代物語と語り 物の研究	57. 4. 1 ~57. 5.31	村上 學	私
58	片山 亨	(甲南女子大学文 学部教授)	新古今和歌集注釈の 研究	58. 4. 1 ~58. 9.30	福田秀一	私
	標 宮子	(女子聖学院短期 大学助教授)	自照文学研究ー「と はずがたり」を中心 としてー	58. 4. 1 ~59. 3.31	福田 秀一	私
59	松原 一義	(四国女子大学文 学部助教授)	今出川晴季とその周 辺(中山孝親・親網 父子など)の研究	59. 4. 1 ~59. 9.30	棚町 知弥	私
	富士 昭雄	(駒澤大学文学部 教授)	西鶴の比較文学的研 究	59. 4. 1 ~59. 9.30	長谷川 強	私
60	加納 重文	(京都女子大学文 学部助教授)	歴史物語の書誌的研 究	60. 4. 1 ~61. 3.31	福田秀一	私
	湯沢賢之助	(跡見学園短期大 学教授)	井原西鶴の周辺の作 家・作品の研究	60. 4. 1 ~61. 3.31	渡邉 守邦	私
	中村 一基	(岩手大学教育学 部講師)	本居宣長とその門流 の研究	60. 9. 1 ~61. 2.28	本田、康雄	内
		(金沢美術工芸大 工芸学部助教授)	院政期・中世初期文 学の研究 ー今物語を中心に一	60.10. 1 ~61. 3.31	小峯 和明	公
61		(鳴門教育大学学 教育学部助教授)	近世文書の基礎的研 究	61. 9. 1 ~62. 2.28	安澤 秀一	内
62	山口 眞琴	(高知大学人文学 部講師)	中世説話集及び物語 の基礎的研究	62. 9. 1 ~63. 2.29	小路 和明	内
	原水 民樹	(徳島大学総合科 学部助教授)	保元物語の形成と変 容に関する研究	62. 9. 1 ~63. 2.29	小峯 和明	内
63	浅野 三平	(日本女子大学文 学部教授)	日本近世文学の資料 調査	63. 4. 1 ~元. 3.31	本田 康雄	私
		(青山学院大学女 子短期大学教授)	日本芸能史の研究	63. 4. 1 ~元. 3.31	小山 弘志	私

年度	氏	名(所属)	研究課題	期間	指導教官	区分
63	揖斐	高(成蹊大学文学部 教授)	日本近世人文学の研 究	63. 4. 1 ~元. 3.31	長谷川 強	私
	松本	四郎(都留文科大学文 学部教授)	日本近世史料の調査、 研究	63. 4. 1 ~元. 3.31	安澤 秀一	公
元	石川	一(広島女子大学文 学部助教授)	新古今歌人の研究	元.10. 1 ~ 2. 3.31	小峯 和明	公
2	丹羽	邦男(神奈川大学経済 学部教授)	明治期土地所有関係 帳簿・絵図の研究	2. 4. 1 ~ 3. 3.31	浅井 潤子	私
	伊藤	一男(東京学芸大学 教育学部助手)	古代散文における和 歌詠作課程の研究	2. 9. 1 ~ 3. 2.28	新藤 協三	内
	平川	新(東北大学教養部 教授)	近世漁村史料の研究	2. 9. 1 ~ 3. 2.28	森 安彦	内
3	柏木	由夫(大妻女子大学短 期大学部助教授)	源俊頼とその周辺歌 人についての史料調 査とその研究	3. 4. 1 ~ 4. 3.31	新藤 協三	私

8-2 国際交流基金フェロー等の受入れ

(昭和56年度までは「十年の歩み」参照)

年度	氏	名(所属)	研究題目	期	間
57	Vlasta Winke (プラハ外[lhoferova 国語学校日本語教授)	最近20年間の日本文学	57. 7.14 ~ 58	. 1.13
57		rievich Sviridov ニングラード支部研究員)	日本文学史	57.12.26 ~ 58	. 4.25
元	李 樹果 (南原	開大学外文学部教授)	江戸文学と中国文学との交 流	元. 9.10~ 2	. 1. 9

8-3 大学院教育協力

(昭和56年度までは「十年の歩み」参照)

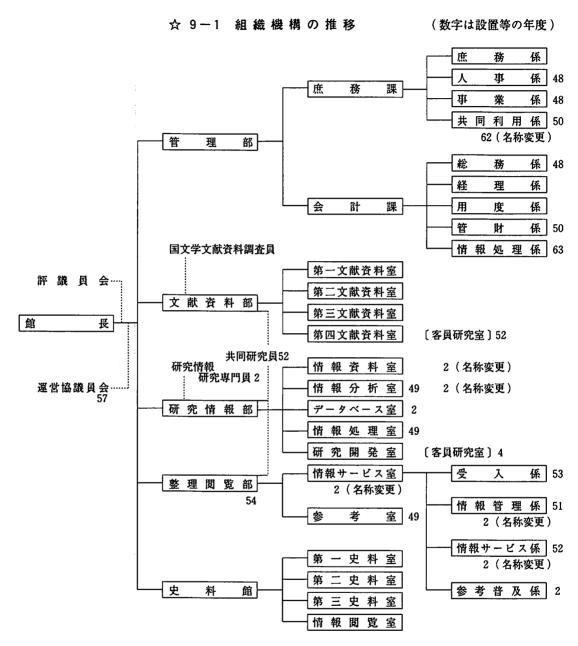
年度	氏 名	所 属	研究課題	期間	指導教官
60	佐藤マサ子	お茶の水女子大学大 学院	カール・フローレンツの 日本研究の研究史上に 於ける意義	60. 4. 1 ~61. 3.31	福田 秀一
61	佐藤マサ子	お茶の水女子大学大 学院	カール・フローレンツの 伝記及び日本研究の研 究史上に於ける意義	61. 4. 1 ~62. 3.31	福田 秀一
	田渕句美子	お茶の水女子大学大 学院	中世和歌	61. 4. 1 ~62. 3.31	福田秀一

8-4 在外研究員・国際研究集会の派遺等

(昭和57年度までは「十年の歩み」参照)

年度	氏	名	目 的	期間	区分
58	岡	雅彦	海外における日本文学资料の調査研究 並びに日本文学研究状況の調査研究	58. 8. 1 ~58. 9.30	文部省在外研究員
	内藤	衛亮	国際オンライン情報会議出席	58.12. 3~10	国際研究集会
59	安藤	正人	文書館における前近代・近代史料の保 存・利用システムに関する調査研究	59. 8. 1 ~59. 9.30	文部省在外研究員
	安永	尚志	ユネスコフォーマティックス暫定政府 間理事会第1回会議及び総合情報計画 (GIP) 政府間理事会第5回会議出席	59.11.11 ~59.11.25	国際研究集会
60	百川	敬仁	「日本文学における異界」をテーマと する比較文学的研究 カナダにおける 日本文学研究の現状調査	60. 5.15 ~61. 5.14	文部省在外研究員
	小山	弘志	第4回ヨーロッパ日本研究会議出席	60. 9.18~10. 1	国際研究集会
61	安永	尚志	世界コンピュータ通信会議出席	61. 9.12~23	国際研究集会
62	安永	尚志	情報通信ネットワークの構成と知能化 に関する研究	62. 7. 1 ~62. 8.31	文部省在外研究員
63	安澤	秀一	第11回国際文書館会議出席及び文書館 専門職養成制度に関する調査研究	63. 8.15 ~63. 9. 3	国際研究集会
	安藤	正人	第11回国際文書館会議出席及び文書館 専門職養成制度に関する調査研究	63. 8.15 ~63. 9. 3	国際研究集会
元	安藤	正人	「第2回アーキビスト養成国際シンポ ジウム」出席及び文書館専門職の養成 に関する調査研究	元. 9. 3 ~元. 9.12	国際研究集会
2	安藤	正人	「第3回アーキビスト養成国際シンポ ジウム」出席及びオランダ王立文書館 学校资料収集及び調査研究	2. 9. 8 ~ 2. 9.14	国際研究集会
3	森	安彦	アジア地域アーキビスト養成国際シン ポジウム並びにアーキビスト養成に関 するセミナー出席	3. 9. 8 ~ 3. 9.14	国際研究集会
4	安藤	正人	アメリカ記録史料科学者協会第56回年 次大会等出席	4. 9. 5 ~ 4. 9.27	国際研究集会

資料9 組織定員の推移



- (1) 昭和47年5月 3部 1館 9室 2課 3係
- (2) 昭和49年4月 研究情報部に編集室、参考室及び情報処理室設置
- (3) 昭和52年4月 文献资料部に第四文献资料室(客員研究室)設置
- (4) 昭和54年4月 整理閲覧部設置
- (5) 平成2年6月 研究情報部にデータベース室設置

研究情報部の情報室及び編集室並びに整理閲覧部の整理閲覧室の名称変更

(6) 平成4年4月 研究情報部に研究開発室(客員研究室)設置

4部 1館 15室 2課 13係

☆ 9-2 定員の推移

注)教授欄には館長を含む。

年 度	教 授	助教授	助手	小 計	事務官	技 官	小 計	合 計
47	9	4	4	17	12	1	13	30
48	9	8	5	22	20	2	22	44
49	9	10	10	29	26	3	29	58
50	9	12	11	32	30	4	34	66
51	9	12	11	32	33	6	39	71
52	10	12	12	34	34	6	40	74
53	10	12	12	34	36	6	42	76
54	10	12	12	34	36	6	42	76
55	10	13	12	35	36	6	42	77
56	10	13	12	35	36	6	42	77
57	11	12	12	35	35	6	41	76
58	11	12	12	35	35	6	41	76
59	11	11	11	33	34	6	40	73
60	11	11	11	33	33	6	39	72
61	12	11	10	33	33	6	39	72
62	12	11	10	33	33	7	40	73
63	12	11	10	33	33	7	40	73
元	12	11	10	33	33	6	39	72
2	13	10	11	34	33	6	39	73
3	13	10	11	34	32	7	39	73
4	13	10	11	34	33	7	40	74

(平成4年5月1日現在)

☆資料11 予算の推移

(単位:千円)

年度 人件費 物件費 計 47 56,716 60,343 117,059 48 113,863 155,038 268,901 49 166,464 304,707 471,171 50 196,110 318,455 514,565 51 229,931 204,742 434,673 52 277,535 257,306 534,841 53 280,389 349,224 629,613 54 298,474 362,015 660,489 55 348,725 374,969 723,694 56 394,243 397,582 791,825 57 365,949 397,721 763,670 58 359,037 394,420 753,457 59 398,363 401,863 800,226 60 390,634 418,307 808,941 61 429,549 446,340 875,889 62 448,822 517,741 966,563 63 447,711 482,124 929,835 元 502,342 548,773 1,051,115 2 541,211 628,990 1,170,201 3 540,581 627,215 1,167,796				
48 113,863 155,038 268,901 49 166,464 304,707 471,171 50 196,110 318,455 514,565 51 229,931 204,742 434,673 52 277,535 257,306 534,841 53 280,389 349,224 629,613 54 298,474 362,015 660,489 55 348,725 374,969 723,694 56 394,243 397,582 791,825 57 365,949 397,721 763,670 58 359,037 394,420 753,457 59 398,363 401,863 800,226 60 390,634 418,307 808,941 61 429,549 446,340 875,889 62 448,822 517,741 966,563 63 447,711 482,124 929,835 7 502,342 548,773 1,051,115 2 541,211 628,990 1,170,201	年 度	人 件 費	物件費	計
49 166,464 304,707 471,171 50 196,110 318,455 514,565 51 229,931 204,742 434,673 52 277,535 257,306 534,841 53 280,389 349,224 629,613 54 298,474 362,015 660,489 55 348,725 374,969 723,694 56 394,243 397,582 791,825 57 365,949 397,721 763,670 58 359,037 394,420 753,457 59 398,363 401,863 800,226 60 390,634 418,307 808,941 61 429,549 446,340 875,889 62 448,822 517,741 966,563 63 447,711 482,124 929,835 元 502,342 548,773 1,051,115 2 541,211 628,990 1,170,201	47	56,716	60,343	117,059
50 196,110 318,455 514,565 51 229,931 204,742 434,673 52 277,535 257,306 534,841 53 280,389 349,224 629,613 54 298,474 362,015 660,489 55 348,725 374,969 723,694 56 394,243 397,582 791,825 57 365,949 397,721 763,670 58 359,037 394,420 753,457 59 398,363 401,863 800,226 60 390,634 418,307 808,941 61 429,549 446,340 875,889 62 448,822 517,741 966,563 63 447,711 482,124 929,835 元 502,342 548,773 1,051,115 2 541,211 628,990 1,170,201	48	113,863	155,038	268,901
51 229,931 204,742 434,673 52 277,535 257,306 534,841 53 280,389 349,224 629,613 54 298,474 362,015 660,489 55 348,725 374,969 723,694 56 394,243 397,582 791,825 57 365,949 397,721 763,670 58 359,037 394,420 753,457 59 398,363 401,863 800,226 60 390,634 418,307 808,941 61 429,549 446,340 875,889 62 448,822 517,741 966,563 63 447,711 482,124 929,835 70 502,342 548,773 1,051,115 2 541,211 628,990 1,170,201	49	166,464	304,707	471,171
52 277,535 257,306 534,841 53 280,389 349,224 629,613 54 298,474 362,015 660,489 55 348,725 374,969 723,694 56 394,243 397,582 791,825 57 365,949 397,721 763,670 58 359,037 394,420 753,457 59 398,363 401,863 800,226 60 390,634 418,307 808,941 61 429,549 446,340 875,889 62 448,822 517,741 966,563 63 447,711 482,124 929,835 元 502,342 548,773 1,051,115 2 541,211 628,990 1,170,201	50	196,110	318,455	514,565
53 280,389 349,224 629,613 54 298,474 362,015 660,489 55 348,725 374,969 723,694 56 394,243 397,582 791,825 57 365,949 397,721 763,670 58 359,037 394,420 753,457 59 398,363 401,863 800,226 60 390,634 418,307 808,941 61 429,549 446,340 875,889 62 448,822 517,741 966,563 63 447,711 482,124 929,835 元 502,342 548,773 1,051,115 2 541,211 628,990 1,170,201	51	229,931	204,742	434,673
54 298,474 362,015 660,489 55 348,725 374,969 723,694 56 394,243 397,582 791,825 57 365,949 397,721 763,670 58 359,037 394,420 753,457 59 398,363 401,863 800,226 60 390,634 418,307 808,941 61 429,549 446,340 875,889 62 448,822 517,741 966,563 63 447,711 482,124 929,835 元 502,342 548,773 1,051,115 2 541,211 628,990 1,170,201	52	277,535	257,306	534,841
55 348,725 374,969 723,694 56 394,243 397,582 791,825 57 365,949 397,721 763,670 58 359,037 394,420 753,457 59 398,363 401,863 800,226 60 390,634 418,307 808,941 61 429,549 446,340 875,889 62 448,822 517,741 966,563 63 447,711 482,124 929,835 元 502,342 548,773 1,051,115 2 541,211 628,990 1,170,201	53	280,389	349,224	629,613
56 394,243 397,582 791,825 57 365,949 397,721 763,670 58 359,037 394,420 753,457 59 398,363 401,863 800,226 60 390,634 418,307 808,941 61 429,549 446,340 875,889 62 448,822 517,741 966,563 63 447,711 482,124 929,835 元 502,342 548,773 1,051,115 2 541,211 628,990 1,170,201	54	298,474	362,015	660,489
57 365,949 397,721 763,670 58 359,037 394,420 753,457 59 398,363 401,863 800,226 60 390,634 418,307 808,941 61 429,549 446,340 875,889 62 448,822 517,741 966,563 63 447,711 482,124 929,835 元 502,342 548,773 1,051,115 2 541,211 628,990 1,170,201	55	348,725	374,969	723,694
58 359,037 394,420 753,457 59 398,363 401,863 800,226 60 390,634 418,307 808,941 61 429,549 446,340 875,889 62 448,822 517,741 966,563 63 447,711 482,124 929,835 元 502,342 548,773 1,051,115 2 541,211 628,990 1,170,201	56	394,243	397,582	791,825
59 398,363 401,863 800,226 60 390,634 418,307 808,941 61 429,549 446,340 875,889 62 448,822 517,741 966,563 63 447,711 482,124 929,835 元 502,342 548,773 1,051,115 2 541,211 628,990 1,170,201	57	365,949	397,721	763,670
60 390,634 418,307 808,941 61 429,549 446,340 875,889 62 448,822 517,741 966,563 63 447,711 482,124 929,835 元 502,342 548,773 1,051,115 2 541,211 628,990 1,170,201	58	359,037	394,420	753,457
61 429,549 446,340 875,889 62 448,822 517,741 966,563 63 447,711 482,124 929,835 元 502,342 548,773 1,051,115 2 541,211 628,990 1,170,201	59	398,363	401,863	800,226
62 448,822 517,741 966,563 63 447,711 482,124 929,835 元 502,342 548,773 1,051,115 2 541,211 628,990 1,170,201	60	390,634	418,307	808,941
63 447,711 482,124 929,835 元 502,342 548,773 1,051,115 2 541,211 628,990 1,170,201	61	429,549	446,340	875,889
元 502,342 548,773 1,051,115 2 541,211 628,990 1,170,201	62	448,822	517,741	966,563
2 541,211 628,990 1,170,201	63	447,711	482,124	929,835
	元	502,342	548,773	1,051,115
3 540,581 627,215 1,167,796	2	541,211	628,990	1,170,201
	3	540,581	627,215	1,167,796

⁽注) 各年度の歳出決算額を示す。